OCN ひかり電話ご利用ガイド

OCN ひかり電話のサービス概要

付加サービスのサービス概要

NTTコミュニケーションズ株式会社

OCN ひかり電話のサービス概要

1	OCN ひかり電話のサービス概要	6
	■ OCN ひかり電話とは	6
	■ OCN ひかり電話の特長	7
	■ OCN ひかり電話のご利用方法	8
	電話のかけ方	8
	発信者番号通知、非通知のしかた	8
	国際電話のかけ方	8
	接続できない番号について	9
2	料金のご案内	11
	■ OCN ひかり電話　月額利用料	11
	■ 付加サービス利用料	12
	【参考】付加サービスセット割引	13
	■ 通話料・通信料	14
	■ 工事費	16
3	OCN ひかり電話ご利用にあたって	17
	■ 現在お使いの電話番号を番号ポータビリティして利用する場合について	17
	■ OCN ひかり電話解約時の電話番号の継続利用について	17
	■ 転用及び弊社サービスへの事業者変更について	18
	■ 弊社サービスからの事業者変更について	18
	■ ご利用上の注意事項	19
	緊急通報などについて	19
	工事について	19
	接続できない番号について	19
	ご契約の事業者さまへ連絡を要するサービスについて	19
	ご利用機器について	20
	ホームゲートウェイバージョンアップについて	20
	料金について	21
	国際通話について	21
	電話帳掲載などについて	21
	「発信電話番号通知」について	22
	「特定番号通知機能」について	22
	付加機能について	22
	その他の留意事項	22
	工事担当者がお伺いせずに、OCN ひかり電話に関する工事を行う場合	22
	保守について	22
	IP通信網サービス契約約款	22

4	「ホームゲートウェイ」について	23
	■ ホームゲートウェイに接続可能な端末	23
	ホームゲートウェイに接続可能な端末台数	23
	ホームゲートウェイにパソコンを接続する場合の対応OS	23
	■ ホームゲートウェイのバージョンアップ	24
	■ ホームゲートウェイの再起動	24
	■ ホームゲートウェイの電話機能設定について	25
	■ 電話機のダイヤル操作による設定	27
5	IP電話対応機器のご利用について	29
	■ 050IP電話対応機器のご利用について	29
付加サービスのサービス概要		
6	発信者電話番号表示／発信者電話番号通知リクエスト	31
	発信者電話番号表示	31
	■ 発信者電話番号表示の機能	31
	■ 通話中着信を併せてご利用になる場合	31
	■ 留意事項	32
	■ ご利用にあたっての設定方法	33
	■ ご利用方法	34
	発信者電話番号通知リクエスト	35
	■ 発信者電話番号通知リクエストの機能	35
	■ 留意事項	35
	■ ご利用方法	36
	■ 「発信者個人情報保護ガイドライン」について	37
7	通話中着信	38
	■ 通話中着信の機能	38
	■ 留意事項	39
	■ ご利用方法	40
8	転送電話	41
	■ 転送電話の機能	41
	■ 留意事項	44

9	迷惑電話お断り	47
	■ 迷惑電話お断りの機能	47
	■ 留意事項	48
10	着信お知らせメール／FAXお知らせメール	50
	■ 着信お知らせメールの機能	50
	■ FAXお知らせメールの機能	51
	■ 留意事項	52
11	「マイナンバー」／「ダブルチャネル」	54
	■ マイナンバー／ダブルチャネルの機能	54
	■ 留意事項	54
	■ ご利用方法	55
12	＃ダイヤル	56
	■ ＃ダイヤルの機能	56
	■ 留意事項	57
13	テレビ電話／高音質電話／データ接続通信	58
	テレビ電話	58
	■ テレビ電話の機能	58
	■ 留意事項	58
	■ ご利用方法	59
	高音質電話	60
	■ 高音質電話の機能	60
	■ 留意事項	60
	■ ご利用方法	60
	データ接続通信	61
	■ データ接続通信の機能	61
	■ 留意事項	61

※本冊子に記載の内容は、2023年5月現在の情報です。
※本冊子に掲載している月額利用料、工事費等の金額は全て税込表示です。

OCN ひかり電話ご利用ガイド

OCN ひかり電話のサービス概要

付加サービスのサービス概要

NTTコミュニケーションズ株式会社

1 OCN ひかり電話のサービス概要

OCN ひかり電話とは

「OCN ひかり電話」は、光ブロードバンド回線でご利用いただける光IP電話サービスです。ご利用中の電話番号や電話機はそのままで、加入電話、INSネット、ひかり電話★1への通話は全国どこにかけても3分8円（税込8.8円）の通話料でご利用いただけます。
また、付加サービスと繰越利用が可能な通話料が一体となった料金プラン「OCN ひかり電話 アドバンスプラン」もご用意。さらに、便利におトクにご利用いただけます。
★1 本書では特に記述が無い限り、NTT東日本・NTT西日本が提供する「ひかり電話」、弊社が提供する「OCN ひかり電話」、弊社以外の事業者がNTT東日本・NTT西日本の「ひかり電話」を自社サービスとして提供する「光IP電話サービス」の総称として用います。

OCN ひかり電話の提供条件

- OCN ひかり電話のご利用には、以下サービスのご契約が必要です。
  ＜企業向けOCNサービス＞
  - OCN光（固定IP1/8/16/for VPN/for VPNライト）
  - OCN光IPoE（固定IP1/8/16/動的IP）

  ＜Arcstar Universal One（L3 ベストエフォート（IPoE）/ ベストエフォート/ ベストエフォート（ライト））＞
  - ベストエフォート（IPoE）「光一括提供型」
  - ベストエフォート「光一括提供型」
  - ベストエフォート（ライト）「光一括提供型」

  ※Arcstar Universal One でご利用の際には、サービス名称はひかり電話となります。
- OCN ひかり電話のご利用には、NTTコミュニケーションズがレンタルで提供する「ホームゲートウェイ」などが必要です。
- （お話し中調べ）など、一部かけられない番号があります。
- 114（お話し中調べ）など、一部かけられない番号があります。
- OCNひかり電話は最大で2チャネル（2回線分）、5電話番号までご利用可能なサービスです。それ以上の数のチャネルや電話番号が必要な場合はOCNひかり電話からArcstar IP Voice（ひかり電話アドバンスタイプ）/（ひかり電話タイプ）への契約変更が必要となります。この場合、ご契約サービスのホームゲートウェイで提供されている機能（無線LAN機能やIPoE（IPv4 over IPv6）インターネット接続機能など）はご利用いただくことができなくなります。

1 OCN ひかり電話のサービス概要

OCN ひかり電話の特長

ご利用中の電話番号・電話機がそのまま使える!

現在ご利用の電話番号★1や電話機★2をそのままご利用いただけます。

★1 一部そのままご利用いただけない電話番号があります。また、現在ご利用中の電話番号をそのまま利用する場合、別途工事費がかかります。

★2 「ISDN対応電話機」、「G4FAX」など、ご利用いただけない電話機があります（アダプタ等の追加によりご利用いただけるISDN対応電話機もございます）。

加入電話への通話料は全国どこにかけても3分8円（税込8.8円）

加入電話、INSネット、ひかり電話への通話は全国どこにかけても3分8円（税込8.8円）でご利用いただけます。

※携帯電話への通話などについては通話料が異なります。

※「テレビ電話」の通話料および「データ接続通信」の通信料については料金が異なります。

音声品質は加入電話相当!

音声パケットを優先して扱うので、加入電話相当の音声品質を実現しています。

緊急機関への通報もOK!

110番･119番などの緊急機関への通報もご利用いただけます。★3

★3停電時は、緊急通報を含む通話ができません（ひかり電話停電対応機器などをご利用いただくことで、一定時間、通話が可能となる場合があります）。

OCN ひかり電話なら自分にあった料金プランが選べておトク！

「OCN ひかり電話」はお客さまのご利用状況にあった料金プランがお選びいただけます。

「OCN ひかり電話基本プラン」なら月額500円（税込550円）の基本料金で電話をご利用いただけます★4。

【選べるOCN ひかり電話プラン】

月額利用料がおトク！

・OCN ひかり電話　基本プラン

付加サービスをご利用される方におすすめ！

・OCN ひかり電話　アドバンスプラン

★4 通話料は含まれておりません。

※OCN ひかり電話のご利用には、「OCN 光」等の契約が必要です。

※各料金プランの月額利用料の詳細はP.11をご覧ください。

2回線分の同時通話や最大5つの電話番号がもてる!

OCN ひかり電話1回線の契約で、2回線分の同時通話や最大5つの電話番号をもつことができます。家族ひとり一人が自分の番号をもったり、電話とFAXの使い分けも可能です。★5

★5 別途、「マイナンバー」、「ダブルチャネル」サービスのお申し込みと月額利用料が必要です。

OCN ひかり電話ならテレビ電話、高音質電話、データ接続通信が基本サービスとして利用可能！

OCN ひかり電話なら、「高品質で滑らかな映像のテレビ電話」や「クリアな音質の電話」、「高画質で安価なFAX通信やセキュリティの高いファイル共有」などがお使いいただけます。

※別途、対応機器が必要です。

※ NTT東日本・NTT西日本が提供するひかり電話からOCN ひかり電話に「転用」★6された一部のお客さまにおいては、別途お申込みが必要となる場合があります。

★6 NTT東日本・NTT西日本が提供する「フレッツ光」、「ひかり電話」をご利用中のお客さまが、契約IDや電話番号をそのままに弊社の提供する「OCN 光」、「OCN ひかり電話」に契約変更することを「転用」といいます。

1 OCN ひかり電話のサービス概要

OCN ひかり電話のご利用方法

電話のかけ方

電話のかけ方は、従来の加入電話と同じです。

※最後の番号をダイヤルしてから数秒後に発信します。すぐに発信させたい場合は、番号に続けて「＃（シャープ）」を押してください。［電話機のダイヤル種別をプッシュ信号（PB）にする必要があります。］

※OCN ひかり電話で自動音声応答装置（IVR）等をご利用になる場合は、電話機のダイヤル種別をプッシュ信号（PB）にしてご利用ください。

発信者番号通知、非通知のしかた

・「通常通知」をお選びの方
今までどおりのかけ方で、電話番号を通知します。ただし、相手の電話番号の前に「184」をダイヤルすると、その発信に限り、電話番号は通知されません。

・「通常非通知」をお選びの方
今までどおりのかけ方で、電話番号を通知しません。ただし、相手の電話番号の前に「186」をダイヤルすると、その発信に限り、電話番号を通知することができます。

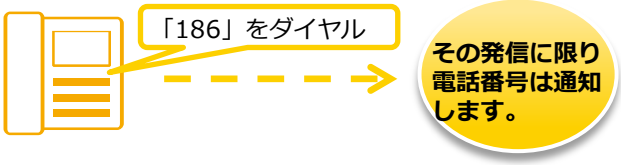
※お選びいただいている番号通知方法の変更は、弊社へお申し込みください。

※指定着信機能を設定したポートから、電話番号を通知して発信した場合、電話番号のみ通知され、指定着信番号は通知されません。

※国際通話等での発信電話番号通知は、相手国側の中継事業者網の設備状況により通知できない場合があります。そのため、相手側端末への表示を保障するものではございませんので、ご了承願います。

「通常通知」をお選びの場合

「通常非通知」をお選びの場合



国際電話のかけ方

OCN ひかり電話では、国際通話に関しては弊社のサービスをご利用いただきます。

※国際電話を使用しない場合は「国際電話の発信規制」をかけることも可能です。詳しくは0120-003300までお申し出ください。

国際電話であることを示す番号		カントリーコード		相手国国内エリアコード		
010	＋	国番号	＋	市外局番	＋	電話番号

（または 010 ＋ 国番号 ＋ 携帯電話番号 ）

例）ニューヨーク（0212）の123-4567番に電話する場合

010＋1＋212＋123-4567

- 010：国際番号であることを示す番号
- 1：国番号
- 212：ニューヨークの市外局番

相手の市外局番、および携帯電話番号が0から始まる場合、最初の0を取った番号をダイヤルします。
※一部例外地域もあります。

接続できない番号について

OCN ひかり電話では、加入電話等と異なり、下記「接続可否番号一覧」のとおり接続できない番号があります。ご利用の際はご注意ください。

【IXY】番号

電話番号	サービス名等	可否
100★1	100番通話	×
104★2	番号案内	○
106★1	コレクトコール（コミュニケータ扱い）	×
108★1	自動コレクトコール	×
110	警察（緊急通報）	○
113★3	故障受付	○
114★4	お話し中調べ	×
115	電報受付	○
116★5	営業受付	○
117	時報	○
118	海上保安（緊急通報）	○
119	消防（緊急通報）	○
135	特定番号通知機能	○
136	ナンバー・アナウンス/ナンバーお知らせ136	×
141	でんわばん/二重番号サービス	×
142	転送電話	○
144	迷惑電話お断り	○
145	キャッチホンⅡ	×
146	キャッチホンⅡ	×
147	転送電話（転送電話セレクト機能）	○
148	発信者電話番号通知リクエスト	○
151	メンバーズネット	×
152	メンバーズネット	×
159	空いたらお知らせ159	×
161	ファクシミリ通信網	×
162	ファクシミリ通信網	×
165	メール送受信	×
171	災害用伝言ダイヤル	○
177	天気予報	○
184	発信者番号非通知	○
186	発信者番号通知	○
188	消費者ホットライン	○
189	児童相談所全国共通ダイヤル	○

★1「100番通話（100）」、「コレクトコール（106・108）」は、着信もご利用いただけません。

★2 OCN ひかり電話から発信した場合、DIAL104サービス（案内された電話番号にそのまま接続できるサービス）はご利用いただけません。なお、加入電話・ISDNから発信して、DIAL104サービスにて案内された番号が「ひかり電話」の場合は着信可能です。

★3 NTT東日本・NTT西日本の電話サービスの故障等に関するご相談の受け付けです。OCN ひかり電話の故障等に関するご相談は「0120-047540」へおかけください。

★4 OCN ひかり電話のお客さまからのお話中調べは、0120-444113（24時間受付）でお調べできます（一部お調べできない場合があります）。

★5 NTT東日本・NTT西日本の各種サービス及び電話の新設・移転等のご注文やお問い合わせの受け付けです。OCN ひかり電話の各種サービス及び電話の新設・移転等のご注文やお問い合わせは「0120-003300」へおかけください。

【00XY】番号等　事業者識別番号

OCN ひかり電話から電気通信事業者を指定した発信（0036や0033など番号の頭に
「00XY」を付与する番号）はできません。

【0AB0】番号

電話番号	サービス名等	可否
0120	フリーアクセス/フリーダイヤル等	○★1
0170	伝言ダイヤル	×
0180	テレドーム	○
0180	データドーム	×
0570	ナビダイヤル	○★2
0800	フリーアクセス等	○★1
0910	公専接続	×
0990	災害募金番組★3	○

★1 フリーアクセスやフリーダイヤル等のご契約者の契約内容によっては接続できない場合があります。
★2 弊社が提供するナビダイヤルのみ接続できます。ただし、ナビダイヤルのご契約者がひかり電話を着信させない契約内容にしている場合、接続できません。
★3 激甚災害発生時に災害募金番組が提供された場合にご利用いただけます。

【0A0】番号

電話番号	サービス名等	可否
010★4	国際通話	○
020	020向け通信等	×
050	IP電話	○
070/080/090	携帯電話	○

★4 国際フリーダイヤル等（「010-800」で始まる番号）には接続できません。

【＃＋ABCD】番号

電話番号	サービス名等	可否
＃7000～＃9999	＃ダイヤル（一般加入電話などで提供のもの）	×
＃7000～＃9999	ひかり電話＃ダイヤル等（OCN ひかり電話の「＃ダイヤル」を含む）	○★5

★5 ひかり電話＃ダイヤル等のご契約者の契約内容によっては接続できない場合があります。

OCN ひかり電話　月額利用料

	月額利用料★1	月額利用料に含まれる通話料金★2 ★3	月額利用料に含まれる付加サービス
基本プラン	500円 （税込550円）	ー	ー
アドバンスプラン	1,500円 （税込1,650円）	480円分（税込528円分）の 通話料〈最大3時間相当〉 余った通話分は翌月に繰越できます★6	・発信者電話番号表示★4 ・発信者電話番号通知リクエスト★5 ・通話中着信 ・転送電話 ・迷惑電話お断り ・着信お知らせメール

★1 別途、OCN 光およびホームゲートウェイの利用料がかかります。ホームゲートウェイの利用料については、こちら（https://www.ntt.com/business/services/network/internet-connect/ocn-business/ftth/collabop/phone/ip/hikaridenwa/charge.html#kiki）でご確認ください。
★2 OCN ひかり電話と同時に「OCN ひかり電話 アドバンスプラン」をお申し込みの場合、OCN ひかり電話のご利用開始日を含む月の翌月から適用となります。またOCN ひかり電話ご利用開始後に、基本プランからアドバンスプランへプラン変更した場合は、プラン変更のお申し込みを弊社が承諾した日を含む月の翌月から適用開始となります。
★3 加入電話、INSネット、ひかり電話（法人向けひかり電話含む）への通話が対象です。（災害募金番組、携帯電話への通話やデータ接続通信での通信などは対象外）。月額利用料に含まれる通話料は、音声通話3分8円（税込8.8円）、利用帯域2.6Mbpsまでのテレビ電話3分15円（税込16.5円）、利用帯域2.6Mbpsを超えるテレビ電話3分100円（税込110円）で計算し、ご利用開始月の翌月から適用となります。
★4 「発信者電話番号表示」のご利用には、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機が必要です。
★5 「発信者電話番号通知リクエスト」のご利用には、あわせて「発信者電話番号表示」のご契約が必要です。
★6 翌月1カ月に限り、繰り越しができます。翌月に使い切らなかった場合、無効となります。基本プランへの変更、OCN ひかり電話の解約時、東日本エリアと西日本エリアを跨ぐ移転時は、繰り越せません。

※「OCN ひかり電話」のご利用には、OCN 光等の契約が必要です。
※上記料金表の料金に加え、1電話番号ごとに毎月ユニバーサルサービス料および電話リレーサービス料が必要となります。ユニバーサルサービス料および電話リレーサービス料についてはこちら（https://www.ntt.com/about-us/cs/univ.html）をご覧ください。
※お申し込み月は月額利用料・ユニバーサルサービス料・電話リレーサービス料が無料です。（アドバンスプランの無料通話分はお申し込み月は適用されず、お申し込み月の翌月から適用となります。）
また月の途中で解約した場合、日割り計算は行いません。
※ 「法人向けひかり電話」とは、NTT東日本・NTT西日本が提供する「ひかり電話オフィスタイプ」「ひかり電話オフィスA（エース）」「ひかり電話ビジネスタイプ」「ひかり電話ナンバーゲート」、弊社が提供する「Arcstar IP Voice（ひかり電話タイプ）」「Arcstar IP Voice（ひかり電話アドバンスタイプ）」、弊社以外の事業者がNTT東日本・NTT西日本の「ひかり電話オフィスタイプ」等を自社サービスとして提供する「光IP電話サービス」の総称として用います。
※アドバンスプランのご契約には、「転送電話」が含まれているためご契約者の本人確認が必要です。

付加サービス利用料

サービス名			月額利用料 東日本エリア	月額利用料 西日本エリア	単位	「OCN ひかり電話アドバンスプラン」の月額利用料に含まれる付加サービス	付加サービスセット割引」の対象になるサービス（東日本エリア）★11
発信者電話番号表示★1			400円（税込440円）		1利用回線ごと	○	○
発信者電話番号通知リクエスト★2			200円（税込220円）		1利用回線ごと	○	○
通話中着信			300円（税込330円）		1利用回線ごと	○	○
転送電話★3 ★13 ★14			500円（税込550円）		1番号ごと	○	○
迷惑電話お断り★4			200円（税込220円）		1利用回線または1番号ごと	○	ー
着信お知らせメール			100円（税込110円）		1番号ごと	○	ー
FAXお知らせメール★3			100円（税込110円）		1番号ごと	ー	ー
ダブルチャネル			200円（税込220円）		1利用回線ごと	ー	○
マイナンバー★5			100円（税込110円）		1番号ごと	ー	ー
着信課金	基本接続★6		1,000円（税込1,100円）		1着信課金番号ごと	ー	ー
着信課金	オプション機能	複数回線管理機能	1,000円（税込1,100円）		1着信課金番号ごと	ー	ー
着信課金	オプション機能	発信地域振分機能	350円（税込385円）		1契約回線ごと	ー	ー
着信課金	オプション機能	話中時迂回機能	800円（税込880円）		1迂回グループごと	ー	ー
着信課金	オプション機能	着信振分接続機能	700円（税込770円）		1振分グループごと	ー	ー
着信課金	オプション機能	時間外案内機能/受付先変更機能★15	650円（税込715円）		1番号ごと（1受付先変更元番号ごと）	ー	ー
着信課金	オプション機能	カスタマコントロール機能	無 料		1着信課金番号ごと	ー	ー
着信課金	オプション機能	特定番号通知機能	100円（税込110円）		1番号ごと	ー	ー
＃ダイヤル			東日本利用型★7 15,000円（税込16,500円）	西日本利用型★8 15,000円（税込16,500円）	＃ダイヤル番号ごと	ー	ー
＃ダイヤル			ブロック内利用型★9 10,000円（税込11,000円）	ブロック内利用型★10 10,000円（税込11,000円）	＃ダイヤル番号ごと	ー	ー
グループ通話定額★12			400円（税込440円）		1チャネルごと	ー	ー

付加サービス利用料

★1 「発信者電話番号表示」のご利用には、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機が必要です。
★2 「発信者電話番号通知リクエスト」のご利用には、あわせて「発信者電話番号表示」のご契約が必要です。
★3 「FAXお知らせメール」をご契約の場合、同一電話番号で「転送電話」は利用できません（別途「マイナンバー」をご契約いただくと、異なる電話番号でそれぞれのサービスが利用できます）。
★4 「マイナンバー」をご利用の場合、希望される番号毎に「迷惑電話リスト」を持つ（個別契約）か、全番号に共通した「迷惑電話リスト」を持つ（共通契約）か、選択することができます。
＜参考＞2番号をご利用の場合に選択可能な利用パターン
1番号のみ「迷惑電話リスト」を利用する場合　：
個別契約で、200円（税込220円）×1リスト＝200円 (税込220円) ／月
2番号の各々に対し、「迷惑電話リスト」を利用する場合　：
個別契約で、200円（税込220円）×2リスト＝400円 (税込440円) ／月
2番号に対し、共通の「迷惑電話リスト」を利用する場合　：
共通契約で、200円（税込220円）×1リスト＝200円 (税込220円) ／月
★5 1電話番号ごとに、ユニバーサルサービス料および電話リレーサービス料が必要となります。
★6 1着信課金番号ごとにユニバーサルサービス料および電話リレーサービス料が必要となります。
★7 東日本エリア全域からの発信を受けることができます。なお、西日本エリアからの発信を受ける場合は、別途西日本エリアにおける「OCN 光」、「OCN ひかり電話」および「＃ダイヤル」のご契約が必要です（工事費・月額利用料がかかります）。
＊東日本エリア：北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野の計17都道県エリア
★8 西日本エリア全域からの発信を受けることができます。なお、東日本エリアからの発信を受ける場合は、別途東日本エリアにおける「OCN 光」、「OCN ひかり電話」および「＃ダイヤル」のご契約が必要です（工事費・月額利用料がかかります）。詳しくは弊社営業担当者までお問い合わせください。
＊西日本エリア：富山県、石川県、福井県、愛知県、静岡県、三重県、岐阜県、大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県の計30府県エリア
★9 東日本エリア４ブロック（北海道・東北・信越・関東）のうち、ご指定いただいた１ブロック内からの発信を受けることができます。
★10 西日本エリアの6ブロック（東海、北陸、関西、中国、四国、九州・沖縄）のうち、ご指定いただいた1ブロック内からの発信を受けることができます。
★11 付加サービスを4つ以上ご契約の場合、月額利用料の高い順に3つの付加サービスが自動的に選択され、「付加サービスセット割引」が適用されます。また、アドバンスプランご契約の場合、「付加サービスセット割引」は適用されません。
★12 グループを構成するためには、 弊社が提供するArcstar IP Voice（ひかり電話タイプ）またはArcstar IP Voice（ひかり電話アドバンスタイプ）のご契約が1回線以上必要です。 また、「OCN ひかり電話アドバンスプラン」と組み合わせてご契約いただくことはできません。グループ通話定額をご利用いただく場合は、基本プランに変更していただく必要があります。なお、NTT東日本・NTT西日本および異なる光コラボレーション事業者が提供する回線とのグループは組めません。 詳しくはこちら（https://www.ntt.com/a_ipvoice-hikari/data/call.html）
★13 転送元から転送先までの通話料は別途かかり、ご契約者さま負担となります。
★14 「転送電話」のご契約には、ご契約者の本人確認が必要です。
★15 2022年2月より「時間外案内機能」と「受付先変更機能」は統合されました。

付加サービス利用料

【参考】付加サービスセット割引（東日本エリアのみ）

付加サービスセット割引とは

「発信者電話番号表示」、「発信者電話番号通知リクエスト」、「通話中着信」、「転送電話」、「ダブルチャネル」の中から３つのサービスをご契約いただくと、自動的に付加サービスセット割引が適用され、３契約が月額880円でお使いいただけます。

例：発信者電話番号表示、通話中着信、転送電話をご契約のお客さまの場合

発信者電話番号表示	月額440円
通話中着信	月額330円
転送電話	月額550円

合計 1,320円

440円おトク！
発信者電話番号表示の月額利用料相当

付加サービスセット割引適用で！ 月額880円

※付加サービスを4つ以上ご契約の場合、月額利用料の高い順に3つの付加サービスが自動的に選択され、「付加サービスセット割引」が適用されます。
※アドバンスプランをご契約の場合、「付加サービスセット割引」は適用されません。

ここで記載している金額はすべて税込表示です。

通話料・通信料

			東日本エリア/西日本エリア
音声	加入電話、INSネット、ひかり電話（法人向けひかり電話含む★1）への通話 ★2		8円（税込8.8円） /3分
	携帯電話への通話		16円（税込17.6円） /60秒
	050IP電話への通話	【グループ B】 株式会社STNet 株式会社Qtnet 株式会社オプテージ ソフトバンク株式会社 中部テレコミュニケーション株式会社 株式会社トークネット 楽天モバイル株式会社 株式会社エネルギア・コミュニケーションズ	10.5円 （税込11.55円） /3分
		【グループ C】 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社 株式会社NTTドコモ KDDI株式会社 ZIP Telecom株式会社 アルテリア・ネットワークス株式会社 Coltテクノロジーサービス株式会社 株式会社アイ・ピー・エス 株式会社コムスクエア 株式会社ハイスタンダード	10.8円 （税込11.88円）/3分

通話料・通信料

			東日本エリア/西日本エリア
データ接続通信★3 ★4	データ接続通信対応機器からデータ接続通信対応機器等へのデータ通信	利用帯域64kbpsまで	1円（税込1.1円） /30秒
		利用帯域64kbps超～512kbpsまで	1.5円（税込1.65円） /30秒
		利用帯域512kbps超～1Mbpsまで	2円（税込2.2円） /30秒
		利用帯域：2.6Mbpsまで	15円（税込16.5円） /3分
		利用帯域：2.6Mbps超	100円（税込110円） /3分
テレビ電話	テレビ電話対応機器からテレビ電話対応機器へのテレビ電話通信 ★2	利用帯域：2.6Mbpsまで	15円（税込16.5円） /3分
その他	上記以外の通信 ★2 （音声・データ接続通信・テレビ電話を複数同時利用した場合★3 等）	利用帯域： 2.6Mbps超	100円（税込110円） /3分
国際通話	各国の国際通話料はこちら (https://www.ntt.com/business/services/network/internet-connect/ocn-business/ftth/collabop/phone/ip/hikaridenwa/charge/kokusai.html)をご覧ください。 (例) ・アメリカ合衆国（ハワイ・グアム・サイパンを除きます。）への通話 9円 /60秒（課税対象外） ・中華人民共和国（香港及びマカオを除きます。）への通話 30円 /60秒（課税対象外） ・大韓民国への通話 30円 /60秒（課税対象外）		

※通話料は、ご利用月の翌々月にご請求となります。（月額利用料は、ご利用月の翌月にご請求させていただきます。）

★1 「「法人向けひかり電話」とは、NTT東日本・NTT西日本が提供する「ひかり電話オフィスタイプ」「ひかり電話オフィスA（エース）」「ひかり電話ビジネスタイプ」「ひかり電話ナンバーゲート」、弊社が提供する「Arcstar IP Voice（ひかり電話タイプ）」「Arcstar IP Voice（ひかり電話アドバンスタイプ）」、弊社以外の事業者がNTT東日本・NTT西日本の「ひかり電話オフィスタイプ」等を自社サービスとして提供する「光IP電話サービス」の総称です。
★2 OCN ひかり電話 アドバンスプランの月額利用料に含まれる通話料分の対象通話先となります。ただし、「災害募金番組」への通話は対象外となります。
★3 利用帯域の合計に対して適用します。
★4 データ接続通信を複数同時利用した場合、合計利用帯域が1Mbps超～2.6Mbpsまでは15円（税込16.5円）/3分、2.6Mbps超は100円（税込110円）/3分となります。

■OCN ひかり電話への発信通話料について
OCN ひかり電話へかける際の通話料は、発信者側の事業者により異なります。

2 料金のご案内

工事費

区分				単位	料金
基本工事★1	交換機等工事のみの場合			1の工事ごと	1,000円（税込1,100円）
	NTT東日本がお伺いして機器工事等を行う場合			1の工事ごと	4,500円（税込4,950円）
交換機等工事費	基本機能			1利用回線ごと	1,000円（税込1,100円）
		テレビ電話、高音質電話、データ接続通信★2		1利用回線ごと	無料
	OCN ひかり電話　アドバンスプラン★3 ★5			1利用回線ごと	1,000円（税込1,100円）
	付加サービス	マイナンバー★3		1番号ごと	700円（税込770円）
		ダブルチャネル★3		1チャネルごと	1,000円（税込1,100円）
		発信者電話番号表示★3		1利用回線ごと	1,000円（税込1,100円）
		発信者電話番号通知リクエスト★3		1利用回線ごと	1,000円（税込1,100円）
		通話中着信★3		1利用回線ごと	1,000円（税込1,100円）
		転送電話★3		1番号ごと	1,000円（税込1,100円）
		迷惑電話お断り★3		1利用回線または1番号ごと	1,000円（税込1,100円）
		着信お知らせメール★3		1番号ごと	1,000円（税込1,100円）
		FAXお知らせメール★3		1番号ごと	1,000円（税込1,100円）
		着信課金（基本機能）		1着信課金番号ごと	1,000円（税込1,100円）
		オプション機能	複数回線管理機能	1着信課金番号ごと	無料
			発信地域振分機能	1契約回線ごと	1,000円（税込1,100円）
			話中時迂回機能	1迂回グループごと	1,000円（税込1,100円）
			着信振分接続機能	1振分グループごと	1,000円（税込1,100円）
			時間外案内機能 / 受付先変更機能	1番号ごと （1受付先変更元番号ごと）	1,000円（税込1,100円）
			カスタマコントロール機能	1着信課金番号ごと	1,000円（税込1,100円）
			特定番号通知機能	1番号ごと	1,000円（税込1,100円）
		＃ダイヤル★3		＃ダイヤル番号ごと	1,000円（税込1,100円）
	同番移行★4			1番号ごと	2,000円（税込2,200円）
	発信電話番号を通常通知もしくは通常非通知へ変更する			1番号ごと	700円（税込770円）
機器工事費（ホームゲートウェイ）	設置費★6			1装置ごと	1,500円（税込1,650円）
	設定費★7			1装置ごと	1,000円（税込1,100円）

★1 OCN 光とOCN ひかり電話を同時に工事される場合は、OCN ひかり電話の基本工事費は減額されます。
　また、付加サービスの追加など同時に2つ以上の工事をされる場合は、2工事目以降の基本工事費は減額されます。
★2 平成22年5月31日までに「テレビ電話」「高音質電話」をご利用されていない場合に適用される工事費です。
★3 OCN ひかり電話と同時工事の場合、交換機等工事費は減額となります。
★4 加入電話等を利用休止して、同一電話番号をOCN ひかり電話でご利用される場合の費用です。別途、加入電話等の利用休止工事費はNTT東日本・NTT西日本へお支払いただく必要があります。
★5 基本プランからアドバンスプランへ変更する場合にかかります。アドバンスプランから基本プランへ変更する場合はかかりません。
★6 ホームゲートウェイの開梱、設置、開通試験、片付け等に関わる工事費です。
　※機器がOCN 光の回線終端装置またはVDSL機器と一体型（東日本エリアの場合は単体型も含む）でOCN 光と同時工事の場合は発生しません。
★7 内線等電話設定、鳴り分け等の電話設定等、ホームゲートウェイの設定を弊社にご依頼いただく場合に発生する工事費です。お客さまご自身で設定等行う場合は発生しません。
※発信者電話番号表示のご利用には、ナンバー・ディスプレイ対応電話機が必要です。
※発信者電話番号通知リクエストのご利用には、あわせて「発信者電話番号表示」のご契約が必要です。
※各社の社名、製品名、サービス名およびサイト名は各社の商標または登録商標です。

3 OCN ひかり電話ご利用にあたって

現在お使いの電話番号を番号ポータビリティして利用する場合について

- NTT東日本・NTT西日本の加入電話などをご利用いただいているお客さまが、本サービスを同一設置場所でご利用いただく場合、現在ご利用中の電話番号をそのまま利用することを番号ポータビリティといいます。
  ※番号ポータビリティのご利用には、別途1番号毎に 同番移行工事費がかかります。詳細はこちら（https://www.ntt.com/business/services/network/internet-connect/ocn-business/ftth/collabop/phone/ip/hikaridenwa/charge/initial.html）
- 番号ポータビリティのご利用には、NTT東日本、NTT西日本の加入電話などの利用休止または契約解除、弊社の電話等利用契約などの解除をしていただく必要があります。
  ※加入電話などの利用休止の際、別途利用休止工事費がNTT東日本、NTT西日本などより請求されます。利用休止から5年間を経過し、更にその後5年間（累計10年間）を経過してもお客さまから利用休止の継続、再利用のお申し出がない場合には解約の扱いとなります。詳細はNTT東日本、NTT西日本などにお問い合わせください。
- 番号ポータビリティを利用している場合で、設置場所を変更（引越しなど）する際は、NTT東日本、NTT西日本の加入電話などにおいて同一番号で移行可能なエリア内に限り、移転先で同じ番号をご利用いただくことが可能です。
- 加入電話などの利用休止または契約解除に伴い、休止対象の電話番号でご利用のNTT東日本、NTT西日本にて提供するサービス（割引サービスなど）は解約となります。
- 電話等利用契約の解除に伴い、対象の電話番号でご利用の弊社にて提供するサービス（フリーダイヤル、ナビダイヤルを除く）は解約となります。
- 本サービスはマイライン対象外です。したがって加入電話などから現在お使いの電話番号を継続して本サービスでご利用されるお客さまの場合、マイライン契約は解除されます。
- 月額利用料の発生するサービスや、定額料金の発生する割引サービスなどの電話サービスにご加入の場合、必要に応じてお客さまご自身でサービスの利用終了の連絡を行ってください。利用の如何に関わらず、料金が発生する場合がありますのでご注意ください。
- 「転送電話」は、加入電話などのボイスワープと一部機能が異なります。
- 「着信課金」は、加入電話などで提供している「フリーアクセス」と一部機能が異なります。
- OCN ひかり電話にてご利用となる電話番号（加入電話などからの番号ポータビリティでの電話番号）は、OCN ひかり電話解約時にNTT東日本、NTT西日本の加入電話などへ番号ポータビリティして継続利用することができます。

OCN ひかり電話解約時の電話番号の継続利用について

- OCNひかり電話でご利用の電話番号は、以下の方法により継続利用することができます。
  <加入電話などから番号ポータビリティした電話番号の場合>
  NTT東日本、NTT西日本の加入電話などへ番号ポータビリティすること、およびNTT東日本、NTT西日本、弊社以外の光コラボレーション事業者が提供するひかり電話サービス（光コラボレーション利用サービス）へ事業者変更することにより継続利用することができます。
  <ひかり電話専用電話番号の場合>
  NTT東日本、NTT西日本、弊社以外の光コラボレーション事業者が提供するひかり電話サービス（光コラボレーション利用サービス）へ事業者変更することにより継続利用することができます（加入電話などへ番号ポータビリティすることはできません）。
- 上記の場合を除き、OCNひかり電話の解約によりご利用の電話番号は継続利用することができません。

転用および弊社サービスへの事業者変更について

- NTT東日本、NTT西日本で提供しているフレッツ光をご利用されているお客さまが、弊社の提供する光回線（光コラボレーション利用サービス）に契約を変更されることを転用といいます。
- 弊社以外の光コラボレーション事業者が提供している光回線（光コラボレーション利用サービス）をご利用されているお客さまが、弊社の提供する光回線（光コラボレーション利用サービス）に契約を変更されることを事業者変更（入）といいます。
- ご利用中のNTT東日本、NTT西日本のひかり電話、弊社以外の光コラボレーション事業者が提供しているひかり電話（光コラボレーション利用サービス）は、光回線の転用もしくは事業者変更（入）にあわせて同時に転用もしくは事業者変更され、転用日もしくは事業者変更日よりOCNひかり電話として提供されます。一部のサービス内容や料金については、転用元および事業者変更元のサービス内容や料金から変更となる場合があります。
- 転用および事業者変更（入）にあたり、電話番号が変更となる場合があります。
  変更された電話番号は初期契約解除時であっても変更前に戻すことはできません。
- 転用および事業者変更（入）により弊社のサービスをお申込みいただき、工事等の費用が発生した場合は、初期契約解除時であっても、その費用について取消やご返金を行うことができません。
- NTT東日本、NTT西日本が提供している「安心プラン」、「もっと安心プラン」は転用および事業者変更（入）ができません。「ひかり電話　基本プラン」もしくは「ひかり電話Ａ（エース）」での転用もしくは事業者変更（入）となります。
- NTT東日本、NTT西日本の「ひかり電話」の付加サービス「テレビ電話チョイス定額」は転用および事業者変更（入）の対象サービスではありません。サービスの解約が必要となります。

※ なお、「OCN ひかり電話」でテレビ電話をご利用の場合はすべて従量課金となります。

弊社サービスからの事業者変更について

- 弊社の提供する光回線（光コラボレーション利用サービス）を解約し、NTT東日本、NTT西日本で提供しているフレッツ光、もしくは弊社以外の光コラボレーション事業者が提供している光回線（光コラボレーション利用サービス）に契約を変更されることを事業者変更（出）といいます。
- ご利用中のOCNひかり電話は、光回線の事業者変更（出）にあわせて同時に事業者変更され、事業者変更日よりNTT東日本、NTT西日本のひかり電話、弊社以外の光コラボレーション事業者が提供しているひかり電話（光コラボレーション利用サービス）として提供されます。一部のサービス内容や料金については、弊社が提供するサービス内容や料金から変更となる場合があります。
- 事業者変更日をもってOCNひかり電話は解約となり、解約日を含む月の月額利用料がかかります（日割り計算は行いません）。この場合、移行先のひかり電話サービスの料金と重複する場合があります。
- OCNひかり電話でグループ通話定額をご利用中の場合、事業者変更に伴いグループ通話定額の対象から外れる場合がありますのでご注意ください。

ご利用上の注意事項

緊急通報などについて	● 緊急通報番号（110/119/118）へダイヤルした場合、発信者番号通知の通常通知・非通知にかかわらずご契約者の住所・氏名・電話番号 を接続相手先（警察／消防／海上保安）に通知します（一部の消防を除く）。 なお、「184」をつけてダイヤルした場合には通知されませんが、緊急機関側が、人の生命などに差し迫った危険があると判断した場合 には、同機関が発信者の住所・氏名・電話番号を取得する場合があります。 ● 停電時は緊急通報を含む通話ができません。携帯電話またはお近くの公衆電話をご利用願います。 ● 火災通報装置★や非常通報装置★、その他高齢者向け等の緊急通報装置★を接続する電話回線として、ひかり電話をご利用いただけない場合がございます。くわしくは通報装置の製造会社にお問い合わせください。 ★非常ボタンを押すことにより、110番や119番、その他あらかじめ登録した通報先に自動的に通報もしくは電話をかける装置のことです。
工事について	● お客さまのご利用場所および設備状況などにより、ご利用開始までの期間は異なります。 ● 設備状況などにより、サービスのご利用をお待ちいただいたり、ご利用いただけない場合があります。
接続できない番号について	● 本サービスでは、一部接続できない番号があります。詳しくは、「接続できない番号について」 （https://www.ntt.com/business/services/network/internet-connect/ocn-business/ftth/collabop/phone/ip/hikaridenwa/access.html）でご確認ください。 （1）本サービスから電気通信事業者を指定した発信（番号の頭に「00××」を付加）などはできません。一部電話機・FAXなどに搭載されている「固定電話から携帯電話への通話サービスに対応した機能（例：携帯通話設定機能（0036自動ダイヤル機能））」や、NTT製以外の一部電話機・FAXなどに搭載されている「ACR（スーパーACRなど）機能」が動作中の場合、通信事業者選択機能が働き、本サービスからの発信ができなくなる場合があります。OCN ひかり電話をご利用になる前に、上記機能の停止や提供会社さまへの解約手続きを行ってください。 （2）一部の「1××」の番号への発信はできません。 106（コレクトコール「コミュニケータ扱い」）、108（自動コレクトコール）など （3）114（お話し中調べ）など、一部かけられない番号があります。 （4）フリーダイヤルご契約者さまがOCN ひかり電話（IP電話）を着信させない契約としている場合はOCN ひかり電話から当該フリーダイヤルへの接続はできません。 （5）＃ダイヤル（一般加入電話などで提供のもの）への発信はできません。
ご契約の事業者さまへ連絡を要するサービスについて	● <u>ガス漏れなどの自動通報・遠隔検針など、ノーリンギングサービスをご利用の場合</u> ご契約の事業者さま（ガス会社など）により、その扱いが異なります。お客さまご自身で必ずご契約の事業者さまにOCN ひかり電話へ変更する旨の連絡を行ってください。「発信者電話番号表示」をご契約いただくことで、OCN ひかり電話でもノーリンギングサービスと同等のサービスをご利用可能な場合もございますので、ご契約の事業者さまへご相談ください。 ● <u>セキュリティサービスをご利用の場合</u> ご契約の事業者さま（警備会社など）により、その扱いが異なります。お客さまご自身で、必ずご契約の事業者さまへ、OCN ひかり電話に変更する旨の連絡を行ってください。

ご利用上の注意事項

ご契約の事業者さまへ連絡を要するサービスについて	● 着信課金サービスをご利用の場合 着信課金サービス提供事業者さまにおいて、OCN ひかり電話は契約可能な回線として指定されていない場合があります。お客さまご自身で、必ずご契約の事業者さまへ、OCN ひかり電話に変更する旨の連絡を行ってください（各事業者さまとの解約手続きなどが必要となる場合があります）。
ご利用機器について	● ISDN対応電話機、G4FAXなど、ご利用いただけない電話機があります。 （アダプタなどの追加によりご利用いただけるISDN対応電話機もございます） ● FAXはG3モードのみご利用いただけます。 ※G4モードなどのディジタル通信モードではご利用いただけません。 ※スーパーG3モードの場合、通信環境によりご利用いただけない場合があります。 ※G3モードでご利用であっても、通信相手がISDN回線をご利用の場合、通信相手側のターミナルアダプタなどの設定によっては、OCN ひかり電話からのFAX送信ができない場合があります。 ● モデム通信については、お客さまの宅内環境、通信機器、回線状況の影響を受けることがあります。 ● 加入電話などでご利用のレンタル電話機の継続利用はできません。NTT東日本・NTT西日本へ解約手続きを行ってください。 ● ホームゲートウェイの接続は、弊社よりお知らせした、OCN ひかり電話の開通日以降に実施してください。OCN ひかり電話の開通日以前に接続した場合、インターネットおよびOCN ひかり電話はご利用いただけません。 ● ホームゲートウェイを初めて接続する場合など、電源を入れたあと、起動するまで5分程度かかることがあります。 ● ホームゲートウェイは、回線終端装置（またはVDSL宅内装置）とLANケーブルで直接接続してください。ホームゲートウェイと回線終端装置（またはVDSL宅内装置）の間に、ハブやルーター等を接続するとOCN ひかり電話を正常にご利用いただくことができない場合があります。 ● 接続できる電話機の台数は、2台までとなります。 ● 電話機に接続されているドアホンをご利用の場合、屋内配線工事が必要となる場合があります。設置された工事会社さまへ確認を行ってください。 ● ホームゲートウェイをVDSL機器または回線終端装置との一体型でご利用のお客さまがOCN ひかり電話を廃止する場合、一体型機器をご利用のままルーター機能を自動停止★させていただきます。（一部の機器をご利用のお客さまについては、VDSL機器または回線終端装置へお取替えさせていただきます。）ルーター機能および無線LAN機能はご利用いただけませんのでご了承ください。 ★自動停止の場合、約700KBの通信が発生します。
ホームゲートウェイバージョンアップについて	● ホームゲートウェイのバージョンアップはホームゲートウェイが定期的に自動チェックし、お客さまが受話器を取り上げた際、「ピーピーピーピー」という音にて通知しますので、お客さまご自身にて実施していただく必要があります。 ※OCN ひかり電話の発着信は通常どおりご利用いただけます。

ご利用上の注意事項

料金について	● 本サービスの料金計算期間は、毎月1日～末日までとなります。 ● ご契約日（転用日、事業者変更日）を含む月（初月）の月額利用料およびユニバーサルサービス料、電話リレーサービス料は無料です。アドバンスプランの月額利用料に含まれる無料通話分の適用は申込み月の翌月からとなります。なお、無料期間においても、発生した通話料はご請求させていただきます。 ● 月額利用料およびユニバーサルサービス料および電話リレーサービス料は、通話料が発生していない月であってもご請求させていただきます。また、解約された場合は、解約日（事業者変更日）を含む月の月額利用料およびユニバーサルサービス料、電話リレーサービス料をご請求させていただきます（日割り計算は行いません）。 ● 月額利用料およびユニバーサルサービス料、電話リレーサービス料は、ご利用いただいた月の翌月、通話料は翌々月にご請求させていただきます。ユニバーサルサービス料および電話リレーサービス料は、お客さまがご契約の電話番号ごとに毎月お支払いいただきます。料金額など詳細は、Webサイト（https://www.ntt.com/about-us/cs/univ.html）をご確認ください。 ● OCN ひかり電話　アドバンスプランの月額利用料に含まれる無料通話分は、翌月に限り繰り越し、翌月の無料通話分に加えて利用できます。この場合において、繰り越した無料通話分（以下 繰越額）は、当該月の無料通話分より優先いたします。 ● 以下の場合、その月において生じた繰越額は無効とし、その翌月における繰越額の適用は行いません。 （１）OCN ひかり電話　基本プランへのプラン変更があったとき。 （２）契約の解除があったとき。 （３）東日本エリアと西日本エリアを跨ぐ移転があったとき。 ● 通話明細について、「通話先の契約者番号（下4桁）」を含め通話明細内訳を記録します。
国際通話について	● 国際通話等における発信番号通知について 国際通話等での発信電話番号通知は、相手国側の中継事業者網の設備状況等により通知できない場合があります。そのため、相手側端末への表示を保障するものではございませんので、ご了承願います。 ● 第三者による不正な電話利用等の被害にご注意ください。なお、国際電話を使用しない場合は弊社にお申し出いただくことで「国際電話の発信規制」をかけることも可能です。
電話帳の掲載などについて	● 電話帳へはご希望の名称で掲載できますが、ご契約者の氏名、名称など、通常お使いになっているものに限らせていただきます。 ● 1つの電話番号につき、1掲載が無料となります。（「マイナンバー」でご利用の電話番号も対象） 1つの電話番号につき、2つ以上の掲載をご希望の場合は、重複掲載料が必要となります。 重複掲載料は、電話帳発行のつど追加分1掲載ごとに500円（税込550円）です。 電話帳発行のつど同様のお取扱いとさせていただきますので、重複掲載がご不要となる場合はお申し付けください。 ● お客さまのご希望により掲載しないこともできます。 ● お申し出いただいた掲載情報は「番号情報データベースシステム」に登録し、電話帳発行または番号案内の利用目的に限定のうえ、要望に応じて電気通信事業者などに提供されます。

ご利用上の注意事項

「発信電話番号通知」について	● 「発信電話番号通知」は、電話をかける際に発信側の電話番号を受信側に通知する機能です。OCN ひかり電話をお申込みの際に「通常通知」または「通常非通知」のどちらか一方を選択していただきます。なお、発信電話番号の通知状態は、弊社によるネットワーク工事で変更できます。 ※「通常通知」「通常非通知」に関わる工事料金は、OCN ひかり電話の新規工事および移転工事と同時に工事する場合は無料です。それ以外は有料となります。 詳細はこちら （https://www.ntt.com/business/services/network/internet-connect/ocn-business/ftth/collabop/phone/ip/hikaridenwa/charge/initial.html） 発信電話番号の「通知」または「非通知」は、ダイヤル操作（184、186）による選択も可能です。
「特定番号通知機能」について	● 本機能をご利用されている場合で、フリーダイヤル・ナビダイヤルを解約される場合は別途、OCN ひかり電話の特定番号通知機能の解約をお申し込みいただく必要があります。 ※ご解約いただかない場合は月額基本料が発生します。
付加機能について	● アドバンスプランを含む「転送電話」のご契約には、ご契約者の本人確認が必要です。
その他の留意事項	● OCN ひかり電話では、発信先（相手側）が応答しない場合、約3分後に自動的に接続が切断されます。 このため、発信先がフリーダイヤルなどで、混雑により「しばらくお待ちください」などのガイダンスが流れ、待ち合わせの 状態であっても、発信から約3分後に自動的に接続が切断されます。 ● 最後の番号をダイヤルしてから約4～6秒たつと、ダイヤルの終了と判定し発信します。すぐに発信させたい場合は、番号に続けて「#」（シャープ）を押してください。 ● 本サービスは、NTT東日本、NTT西日本にて提供するソフトウェア（スマホdeひかり電話、ひかり電話ソフトフォンなど）、機器（シルバーホンなど）はサポート対象外となります。
工事担当者がお伺いせずに、OCN ひかり電話に関する工事を行う場合	● OCN ひかり電話またはOCN ひかり電話の付加サービス等がご利用できない状態になった場合、 お客さまご自身で「ホームゲートウェイ」の再起動を行ってください。
保守について	● 故障修理などの対応時間は午前9時～午後5時となります。（ただし、故障に関するお問い合わせについては24時間365日受付しております。） ※24時間出張修理オプションのご契約がある場合は、上記の限りではありません。
IP通信網サービス契約約款	● 本サービスは、NTTコミュニケーションズ株式会社（以下、弊社）の定める「IP通信網サービス契約約款」 （https://www.ntt.com/about-us/disclosure/tariff/）に基づいて提供します。

ホームゲートウェイに接続可能な端末

OCN ひかり電話のご利用には、NTTコミュニケーションズがレンタルで提供する「ホームゲートウェイ」などが必要です。
※NTT東日本・NTT西日本からの転用の場合、現在使用されているホームゲートウェイ（ひかり電話対応機器）の端末はそのままお使いいただけます。利用料金については、弊社から請求させていただきます。
※無線LANをご利用される際には、第三者による盗聴・情報の改ざん・なりすましなどを防止するために、セキュリティ機能（通信の暗号化など）の設定を行ってください。OCN ひかり電話などをご利用の場合に適切なセキュリティ機能の設定を行っていないと、お客さまのネットワークに第三者がアクセスし、お客さまがご利用されていない通話料などが発生するおそれがありますので十分にご注意ください。

ホームゲートウェイに接続可能な端末台数

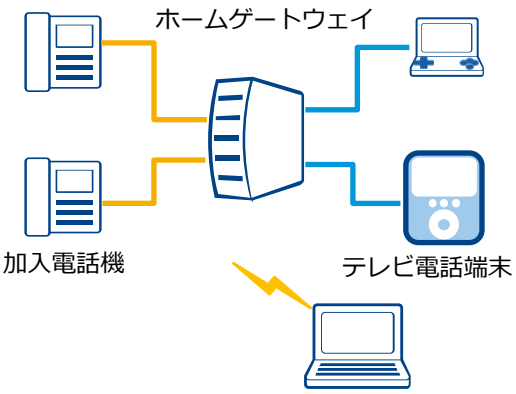
端末種類	利用可能端末台数
加入電話機（G3FAX機含む）	最大2台（TELポート2つ）
有線接続IP端末（テレビ電話端末など）	最大4台（LANポート4つ）
無線接続IP端末（無線LANカード利用端末など）	最大5台

※他社が提供するホームゲートウェイ（ひかり電話対応機器）をご利用いただく場合は、対象機器のマニュアルをご確認ください。

！ 接続に関するご注意

※ホームゲートウェイの接続は、弊社よりお知らせした、OCN ひかり電話の開通日以降に実施してください。OCN ひかり電話の開通日以前に接続した場合、インターネットおよびOCN ひかり電話はご利用いただけません。
※ホームゲートウェイを初めて接続する場合など、電源を入れたあと、起動するまで5分程度かかることがあります。
※ホームゲートウェイは、回線終端装置（またはVDSL宅内装置）とLANケーブルで直接接続してください。ホームゲートウェイと回線終端装置（またはVDSL宅内装置）の間に、ハブやルーター等を接続するとOCN ひかり電話を正常にご利用いただくことができない場合があります。

（接続例）



ホームゲートウェイにパソコンを接続する場合の対応OS

接続方法	対応OS
ホームゲートウェイとパソコンを有線（LANケーブル）で接続する場合	Microsoft Windows 10、Microsoft Windows 8.1、Mac OS X
ホームゲートウェイとパソコンを無線（専用無線LANカード）で接続する場合	Microsoft Windows 10、Microsoft Windows 8.1

※Microsoft Windows 8については、一部64bit版へ対応していない場合があります。

4 「ホームゲートウェイ」について

ホームゲートウェイのバージョンアップ

ホームゲートウェイのファームウェア★をバージョンアップすることで、最新の機能やサービスをご利用いただくことができます。
★ファームウェアとは、ホームゲートウェイを動作させるソフトウェアです。ホームゲートウェイの機能追加や機能改善に対応するため、必要に応じ最新のファームウェアを提供します。

初期設定が自動更新となっています。最新のファームウェアが提供された場合、あらかじめ設定されている時間帯（午前1時～午前5時のいずれか）に自動的にファームウェアの更新を行います。

自動更新が『5:00』に設定されている場合は、『5:00～5:59』の間に自動的にファームウェアの更新（再起動）を行います。

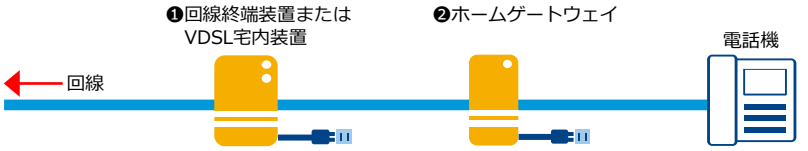
再起動中は約1分間、OCN ひかり電話やインターネット、映像コンテンツ視聴などの各サービスがご利用いただけません。手動更新に変更したい場合、または自動更新の時間を変更したい場合は、ホームゲートウェイの取扱説明書をご覧いただき、設定を変更してください。電話機から設定する場合はP.27をご覧ください。
※設定時間に通話や通信を行っている場合は、ファームウェアの更新が翌日の設定時間に延期されることがあります。

！ バージョンアップ中のご注意

※ファームウェアのバージョンアップ中は絶対にホームゲートウェイの電源を切らないでください。回復不能な故障の原因となります。
※ファームウェアのバージョンアップ中は、OCN ひかり電話をご利用いただけません。

ホームゲートウェイの再起動

OCN ひかり電話がご利用できない場合は、ホームゲートウェイの再起動を行ってください。再起動方法は下記のとおりです。



手順1

❶、❷の電源コードを一旦外したのち、❶の電源コードを入れ直してください。
※❶、❷が一体型の場合があります。その場合、電源コードを一旦はずしたのち、「手順2」からはじめてください。

手順2

2～3分程度たったのち、❷の電源コードを入れ直してください。
※ホームゲートウェイのVoIPランプまたはOCN ひかり電話ランプが緑色に点灯し、受話器をあげて「ツー」という発信音が聞こえたら、OCN ひかり電話は利用できます。

手順3

15分以上たっても通話ができない場合は、❷の電源コードを外し、「手順2」から繰り返してください。
※上記の手順でもOCN ひかり電話がご利用できない場合は、故障担当へお問い合わせください。

ホームゲートウェイの電話機能設定について

ホームゲートウェイは、以下の電話機能設定ができます。設定は対応機器のWeb設定画面（「 http://192.168.1.1 」もしくは「 http://ntt.setup 」）にて設定します。なお、電話機のダイヤル操作による設定も可能です。詳細はホームゲートウェイ付属の取扱説明書をご覧ください。

設定種別	項目	初期設定	概要
内線設定	内線番号	TELポート1「: 1」 TELポート2「: 2」	「1～99」の内線番号を任意に設定することができます。
	着信音	着信音2（SIR） 「プルルップルルッ･･･」 （短い鳴動）	内線着信時の着信音を2種類から選択することができます。 着信音1（IR）:「プルルルー･･」（長い鳴動） 着信音2（SIR）:「プルルップルルッ･･･」（短い鳴動） ※実際の音色は電話機によって異なります。
外線設定	通知番号	契約者回線番号	電話をかける相手に通知する番号を、契約電話番号もしくは追加する番号の中から選択することができます。
	一斉着信/ 個別着信	全ての電話番号が 全ての電話機に 一斉着信	全ての電話機に一斉に着信させたり、電話番号ごとに指定した電話機に着信させたりする設定ができます。 ※着信電話番号設定をしているポートに、電話機等が接続されていない状態で、その電話番号に着信があった場合、発信側には呼出音が流れます（着信側は電話機等が接続されていないため、着信音がなりません）。
	着信音	着信音1（IR） 「プルルルー･･」 （長い鳴動）	外線着信時の着信音を2種類から選択することができます。 着信音1（IR）:「プルルルー･･」（長い鳴動） 着信音2（SIR）:「プルルップルルッ･･･」（短い鳴動） ※実際の音色は電話機によって異なります。
	鳴り分け	着信音1（IR） 「プルルルー･･」 （長い鳴動）	一台の電話機で、複数の電話番号を着信させる設定にした場合、電話番号ごとに着信音を変える設定ができます。 着信音1（IR）:「プルルルー･･」（長い鳴動） 着信音2（SIR）:「プルルップルルッ･･･」（短い鳴動） ※実際の音色は電話機によって異なります。
	優先着信機能	無効	2つのTELポート（電話機）に同一の着信番号が設定されている場合、優先着信ポートを設定することにより、着信時に設定したポート（電話機）を優先的に鳴動させることができます（本機能ご利用の場合、フレッツフォン等の利用はできません）。
	指定着信機能	無効	いずれか1つのTELポートに、電話番号（契約回線番号および追加番号）の他、「指定着信番号（1～19桁の数字）」を設定することにより、ポートを限定して着信させることができます。

ホームゲートウェイの電話機能設定について

設定種別	項目	初期設定	概要
付加機能設定	ナンバー・ディスプレイ	使用する	発信者番号表示をご契約にならない際は、設定を「使用しない」にする必要がある場合があります。
	キャッチホン・ディスプレイ	使用しない	お話し中に着信があった場合でも、かけてきた相手の電話番号を電話機等のディスプレイに表示させることができます。 ※ホームゲートウェイ「PR-200NE」「RV-230シリーズ」「RT-200シリーズ」をご利用の方は、最新のファームウェアにバージョンアップすることでご利用いただけます。
	割込音通知	使用する	「ダブルチャネル」をご契約で、1チャネルのみ通話中の場合は「通話中着信」が作動しません。本設定により、「通話中着信」サービス相当の機能がご利用になれます。 ※「ダブルチャネル」をご契約されていない場合、キャッチホン機能をご利用になるには、本設定のみではご利用いただけません。「通話中着信」のご契約が必要です。
	モデムダイヤルイン	使用しない	モデムダイヤルイン機能を使用する端末を接続する場合、設定を「使用する」に変更が必要となります。

電話機のダイヤル操作による設定

受話器をあげ（またはスピーカーボタンを押し）、設定項目に応じて下記のとおりダイヤルボタンを押してください。設定が終わったら、受話器をおいてください（またはスピーカーボタンを押してください）。

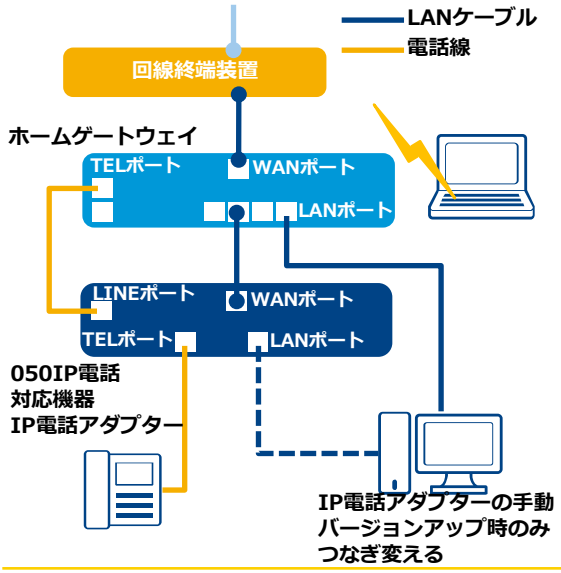
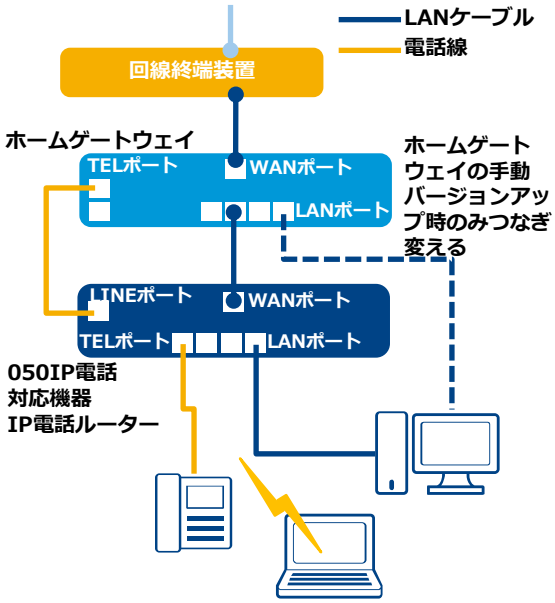
機能	操作方法	初期設定
アナログポート設定		
ナンバー・ディスプレイ設定	＊＊＊99 ▶ 1 または 2★1 ▶ ＊ ▶ 91 ▶ ＊ ▶ 1 または 2★2 ▶ ＃＃	使用する
モデムダイヤルイン設定	＊＊＊99 ▶ 1 または 2★1 ▶ ＊ ▶ 92 ▶ ＊ ▶ 1 または 2★2 ▶ ＃＃	使用しない
割込音通知設定	＊＊＊99 ▶ 1 または 2★1 ▶ ＊ ▶ 93 ▶ ＊ ▶ 1 または 2★2 ▶ ＃＃	使用する
着信番号設定	＊＊＊99 ▶ 1 または 2★1 ▶ ＊ ▶ 94 ▶ ＊ ▶ 着信電話番号 ▶ ＃＃	契約者回線番号
指定着信設定	＊＊＊99 ▶ 1 または 2★1 ▶ ＊ ▶ 95 ▶ ＊ ▶ 着信電話番号 ▶ ＊ ▶ 指定着信番号 ▶ ＃＃	使用しない
キャッチホン・ディスプレイ設定	＊＊＊99 ▶ 1 または 2★1 ▶ ＊ ▶ 96 ▶ ＊ ▶ 1 または 2★2 ▶ ＃＃	使用しない
ダイヤル桁間タイマ(秒)設定	＊＊＊99 ▶ 1 または 2★1 ▶ ＊ ▶ 97 ▶ ＊ ▶ 4 ～ 8★3 ▶ ＃	4秒
エコー・キャンセラー設定	＊＊＊99 ▶ 1 または 2★1 ▶ ＊ ▶ 98 ▶ ＊ ▶ 1 または 2★2 ▶ ＃＃	使用する
通知番号設定	＊＊＊99 ▶ 1 または 2★1 ▶ ＊ ▶ 00 ▶ ＊ ▶ 相手に通知する発信者番号 ▶ ＃＃	契約者回線番号
内線番号設定	＊＊＊99 ▶ 1 または 2★1 ▶ ＊ ▶ 01 ▶ ＊ ▶ 1 ～ 99★4 ▶ ＃＃	電話線ポート1：「1」 電話線ポート2：「2」

機能	操作方法	初期設定
アナログポート設定		
外線着信音選択設定	＊＊＊99 ▶ 1 または 2★1 ▶ ＊ ▶ 02 ▶ ＊ ▶ 着信電話番号 ▶ ＊ ▶ 1 または 2★5 ▶ ＃＃	着信音1(IR)「プルルルー・・」(長い鳴動)
アナログポート無効化★6	＊＊＊90 ▶ ＊ ▶ 02 ▶ ＊ ▶ 1 または 2★1 ▶ ＃＃	有効
電話設定		
優先制御設定	＊＊＊90 ▶ ＊ ▶ 00 ▶ ＊ ▶ 1 ～ 3★7 ▶ ＃＃	無効
優先着信ポート無効化★6	＊＊＊90 ▶ ＊ ▶ 01 ▶ ＊ ▶ 1 ～ 3★8 ▶ ＃＃	無効
ファームウェア更新設定		
自動更新設定	＊＊＊882 ▶ ＊ ▶ 00 ～ 23★9 ▶ ＃＃	ホームゲートウェイの機種によって異なる
手動更新設定	＊＊＊889 ▶ ＊ ▶ 1 または 2★10 ▶ ＃＃	

★1 設定を行うTELポート番号を押します。
★2 機能を使用する場合は「1」、使用しない場合は「2」を押します。
★3 設定したい秒数を1桁で押します（4、5、6、7、8のみ設定可能です）。
★4 設定したい内線番号を、「1～9」「10～99」の1～2桁で押します。
★5 「IR」とする場合は「1」を、「SIR」とする場合は「2」を押します。［IR：「プルルルー・・」（長い鳴動）　SIR：「プルルップルルッ・・」（短い鳴動）］
★6 電話機を１台のみ接続する場合は、電話機を接続しないアナログポートを無効化することをお勧めします。（アナログポートを無効化しない場合、接続している電話機が受話器外れ等の際、相手に呼出音が鳴り続けることがあります。）
★7 優先制御設定を、「制御なし」に設定する場合は「1」、「優先」に設定する場合は「2」、「最優先」にする場合は「3」を押します。
★8 優先着信ポートの設定を、電話機ポート1に設定する場合は「1」、電話機ポート2に設定する場合は「2」、「無効」にする場合は「3」を押します。
★9 自動更新する時間帯を「00～23」の2桁で押します。（例：5時に設定する場合は「05」、21時に設定する場合は「21」を押します。）
★10 すぐに再起動を行う場合は「1」を、再起動を行わない場合は「2」を押します。
※電話機の電話回線種別がプッシュ信号（PB）である必要があります［プッシュ信号（PB）にできない電話機からの設定はできません］。
※設定を途中で中止する場合は受話器をおきます。
※1台の電話機から設定中に2台目の電話機から設定することはできません。
※ダイヤルボタンを押す間隔が30秒以上あくと、設定が中止されます。
※設定が正常に行われた場合、「設定が完了しました。」とガイダンスが流れます。
※設定が正常に行われなかった場合や、間違った番号を押した場合、「設定に失敗しました。再度設定してください。」とガイダンスが流れます。

050IP電話対応機器のご利用について

※下記の接続構成であればご利用可能です。ただし、ご利用上の制約事項があります。

接続構成	接続構成ごとの注意事項
	● ホームゲートウェイのファームウェア更新種別は「自動更新」を推奨します。ファームウェア更新種別が「手動更新」となっている場合には、「バージョンアップお知らせ機能」★をご利用いただくことができません。お客さまの責任のもと、ホームゲートウェイに接続したパソコンからファームウェアの更新状況を確認し、更新を実施する必要があります。 ★IP電話アダプターのファームウェア更新時の「バージョンアップお知らせ機能」はご利用可能です。したがって、電話機で聞こえるバージョンアップ通知音は、IP電話アダプターのファームウェアのバージョンアップお知らせとなります。なお、ファームウェア更新がある際は、更新作業時のみIP電話アダプターにパソコンをつなぎ変えていただく必要があります（左図参照）。 ※050IP電話で接続不可な番号（110・119等）以外は、全て050IP電話での発信となります。「OCN ひかり電話」からの発信をご希望の場合は、相手先電話番号の前に「0000」をダイヤルして発信する必要があります。050IP電話からの発信は「OCN ひかり電話　アドバンスプラン」の月額利用料に含まれる通話料の対象にはなりません。
	● OCN ひかり電話と050IP電話を同時利用する場合は、インターネット等への接続設定は、すべてIP電話ルーターで行うため、ホームゲートウェイへのインターネット接続設定等はなさらないよう、お願いします。 ● 本ルーター構成でご利用の場合、インターネット接続設定がないためホームゲートウェイのLANポートに接続したパソコンからは、インターネットに接続できません。ファームウェア手動更新時を除き、パソコンはインターネット接続設定を行ったIP電話ルーターに接続してください。 ● ホームゲートウェイは出荷時には「PPPoEブリッジ機能」が「有効」となっておりますので、「無効」への変更は行わないでください。 ● ホームゲートウェイのファームウェア更新種別は「自動更新」を推奨します。ファームウェア更新種別が「手動更新」となっている場合には、「バージョンアップお知らせ機能」★をご利用いただくことができません。お客さまの責任のもと、ホームゲートウェイに接続したパソコンからファームウェアの更新状況を確認し、更新を実施する必要があります。更新作業時のみホームゲートウェイにパソコンをつなぎ変えていただく必要があります（左図参照）。 ★IP電話ルーターのファームウェア更新時の「バージョンアップお知らせ機能」はご利用可能です。したがって、電話機で聞こえるバージョンアップ通知音は、IP電話ルーターのファームウェアのバージョンアップお知らせとなります。 ※050IP電話で接続不可な番号（110・119等）以外は、全て050IP電話での発信となります。「OCN ひかり電話」からの発信をご希望の場合は、相手先電話番号の前に「0000」をダイヤルして発信する必要があります。050IP電話からの発信は「OCN ひかり電話　アドバンスプラン」の月額利用料に含まれる通話料の対象にはなりません。

OCN ひかり電話ご利用ガイド

OCN ひかり電話のサービス概要

付加サービスのサービス概要

NTTコミュニケーションズ株式会社

6 発信者電話番号表示／発信者電話番号通知リクエスト

発信者電話番号表示

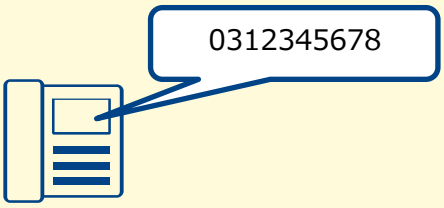
※発信者電話番号表示は「OCN ひかり電話　アドバンスプラン」の月額利用料に含まれる付加サービスです。

発信者電話番号表示の機能

便利 **安心** **着信番号表示**

出る前に電話番号がわかる！

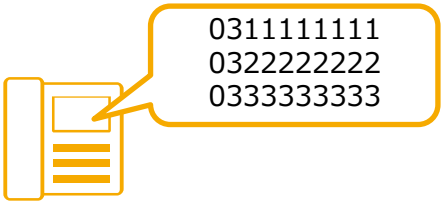
かけてきた相手の電話番号を電話機のディスプレイに表示します。また、かけてきた相手の電話番号が通知されない場合は、その理由を表示します。



便利 **着信履歴表示**

留守中でも電話番号が残る！

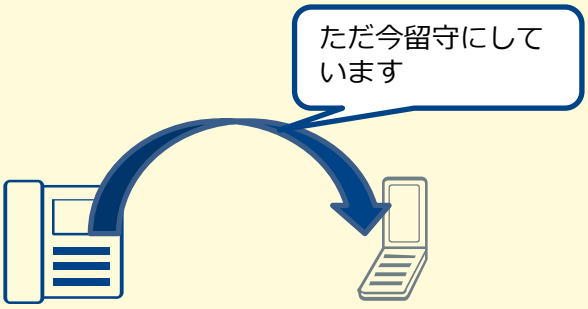
留守番電話にメッセージが残っていない場合や電話に出られなかった場合でも、かけてきた相手の電話番号が記録されます。かけ直しの操作も簡単です。



安心 **迷惑電話対応**

迷惑電話をシャットアウト！

出たくない相手の電話番号を電話機に登録しておけば、着信音を鳴らさずに専用の応答メッセージで対応することができます。



※上記の利用例は、発信者電話番号表示とナンバー・ディスプレイ対応の電話機などの機能を組み合わせることでご利用いただけます。機種によっては機能の詳細に違いがあったり、ご利用になれない機能がありますので、詳しくは販売店にご確認いただくか、電話機の取扱説明書をご覧ください。

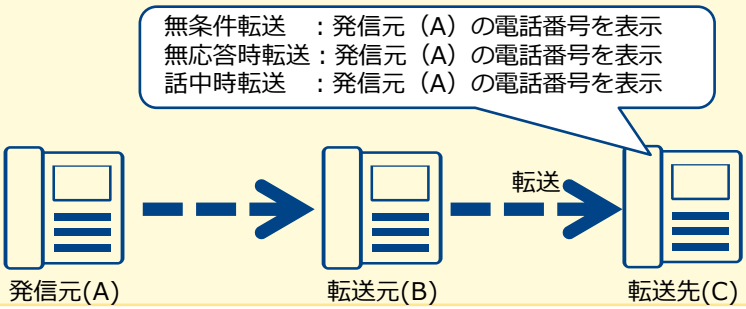
通話中着信を併せてご利用になる場合

ホームゲートウェイの「キャッチホン・ディスプレイ」機能を使用することで、「通話中着信」での割り込み着信の際にも電話番号が表示可能です。　➡「キャッチホン・ディスプレイ」機能の設定方法はP.26をご覧ください。

※初期設定では、キャッチホン・ディスプレイを「使用しない」に設定されています。
※ホームゲートウェイ「PR-200NE」「RV-230シリーズ」「RT-200シリーズ」をご利用の方は、最新のファームウェアにバージョンアップすることでご利用いただけます。
※「通話中着信」での割り込み着信時に、ご契約者と最初の通話相手の双方とも約１秒程度無音になります。
※キャッチホン・ディスプレイ対応の電話機が必要となります。

留意事項

他の付加サービス等と併せてご利用の場合の留意事項

通話中着信	「通話中着信」等での割り込み着信の際には、「発信者電話番号表示」による電話番号の表示はできません。
転送電話	「転送電話」による転送先への電話番号通知については、転送の設定状況にかかわらず発信元電話番号が表示されます。また、転送の設定状況にかかわらず、発信元（A）が「184」をダイヤルすると電話番号は通知されません。 **Bがボイスワープを、Cがナンバー・ディスプレイを契約している場合** 
迷惑電話お断り	「迷惑電話リスト」に登録した電話番号からの着信には、メッセージで応答し、着信しないため電話番号などは表示はされません。
FAXお知らせメール	FAX受信「開始」設定中の着信については、電話番号表示はされません。
発信者電話番号通知リクエスト	非通知でかかってきた場合は、着信しないため、「非通知」等の表示はされません。
マイナンバー	発信者電話番号表示は、OCN ひかり電話利用回線ごとのご契約となるため、契約番号・マイナンバーへの着信の区別なく表示可能な電話番号を表示します。
指定着信機能	指定着信番号は表示されません。

ご注意ください

国内の加入電話や携帯電話から発信された場合、「０」以外から始まる番号が表示されることはありません。
「０」以外から始まる番号が表示されているにもかかわらず、通話先が警察や官公庁などの公的機関を名乗るなど、あたかも国内から発信しているような内容を装っている場合には、振り込め詐欺等の可能性に十分ご注意ください。

6 発信者電話番号表示／発信者電話番号通知リクエスト

ご利用にあたっての設定方法

■電話機等の確認

- 本サービスのご利用には、ナンバー・ディスプレイ対応の通信機器やアダプターの設置、およびその設定が必要となります。
- 通信機器にディスプレイがあってもナンバー・ディスプレイに対応していないと電話番号は表示されません。
- ナンバー・ディスプレイに対応した通信機器にはDやcD、ND、「ナンバー・ディスプレイ対応」などと表示されています。

■電話機等の接続に関する注意点

- 本サービスの工事日までに現在ご利用の電話機をナンバー・ディスプレイ対応の電話機などにお取り替えのうえナンバー・ディスプレイ機能を「ON」にしてください。
- ナンバー・ディスプレイ未対応の電話機でご利用される場合は、ナンバー・ディスプレイ対応のアダプターを設置してください。

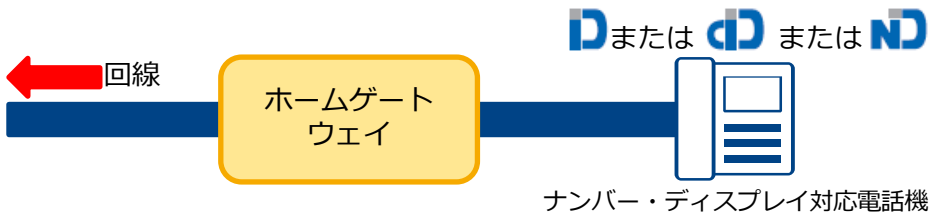
  ※万一、本サービスに対応していない電話機を接続した場合、短い断続した呼び出し音の後、通常の呼び出し音が聞こえますので、通常の呼び出し音に変わってから電話に出るようにしてください。通常の呼び出し音に変わるまで5～6秒かかります。

  ※本サービスを利用している回線に本サービス対応の電話機と本サービスに対応していない自動応答端末（留守番電話機やFAXなど）を同時に接続すると、接続方法によっては番号の表示ができなかったり、途中で通話が切断される場合などがあります。

■電話機等の主な接続例

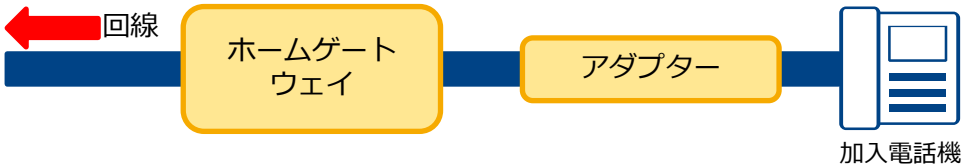
例1 ナンバー・ディスプレイ対応電話機を1台接続する場合

ひかり電話対応機器にナンバー・ディスプレイ対応電話機を接続します。電話機にコードレス子機がセットになっている場合は、親機を接続します。



例2 加入電話機とナンバー・ディスプレイ対応アダプターを接続する場合

アダプターに添付されているコードをアダプター背面の「電話回線コード差し込み口」に接続し、もう一方をひかり電話対応機器に接続します。加入電話機の電話機コードをアダプター背面の「電話機コード差し込み口」に接続します。



※ ナンバー・ディスプレイおよびそのロゴマークはNTT東日本・NTT西日本の商標または登録商標です。

6 発信者電話番号表示／発信者電話番号通知リクエスト

ご利用方法

■ディスプレイ等への表示内容

かけてきた相手が電話番号を通知するか否かによって次のような内容が表示されます。

電話種別	電話回線のご利用形態	発信時の操作	表示例
ひかり電話・加入電話・INSネットからの発信	通常通知	相手の電話番号	「0312345678」
		「186」＋相手の電話番号	
		「184」＋相手の電話番号	「非通知」、「ヒツウチ」または「P」
	通常非通知	相手の電話番号	
		「186」＋相手の電話番号	「0312345678」
		「184」＋相手の電話番号	「非通知」、「ヒツウチ」または「P」
公衆電話からの発信		相手の電話番号	「公衆電話」、「コウシュウデンワ」または「C」
		「186」＋相手の電話番号	
		「184」＋相手の電話番号	「非通知」、「ヒツウチ」または「P」
国際電話などで電話番号を通知できない通話		相手の電話番号	「表示圏外」、「ヒョウジケンガイ」または「O」、「S」
		「186」＋相手の電話番号	
		「184」＋相手の電話番号	

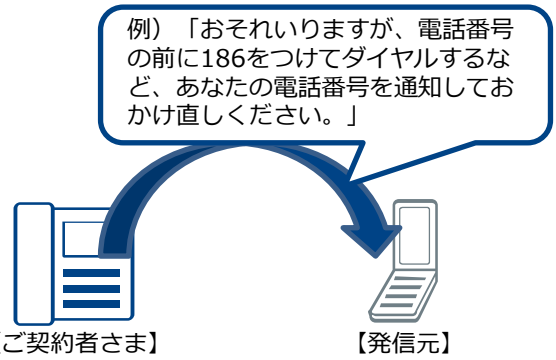
※ご利用の通信機器によって表示内容が異なる場合があります。
※一部通信事業者（移動体通信事業者、IP電話事業者含む）経由の通話、一部を除く国際電話など電話番号を通知できない通話および公衆電話からの通話については電話番号は表示されず、電話番号を通知できない理由（「表示圏外」、「公衆電話」等）がディスプレイに表示されます。
※かけてきた相手の利用電話回線が「通常非通知」のご契約になっている場合や、電話番号の前に「184」をつけてかけてきた場合など、かけてきた相手の意思により電話番号を通知しない通話については電話番号は表示されず「非通知」表示となります。
※電話をかけてきた相手の方がIP電話から電話をかけてきた場合、電話番号および電話番号を表示できない理由（「非通知」、「表示圏外」等）については、各IP電話事業者により異なります。また、表示された電話番号に折り返し電話をかけてもつながらない場合があります。（接続の可否および時期については各IP電話事業者により異なります。）
※ご利用の通信機器によっては、電話番号も電話番号を表示できない理由も表示されない場合があります。

発信者電話番号通知リクエスト

※発信者電話番号通知リクエストは「OCN ひかり電話　アドバンスプラン」の月額利用料に含まれる付加サービスです。

発信者電話番号通知リクエストの機能

電話番号を「通知しない」でかけてきた相手に「おそれいりますが、電話番号の前に186をつけてダイヤルするなど、あなたの電話番号を通知しておかけ直しください。」と音声メッセージで応答する機能です。この場合、着信音はなりません。（かけた方には通話料金がかかります。）
※ご契約時は停止状態です。ご利用いただくためには電話機による開始の設定が必要です。



留意事項

ご利用上の留意事項

ご利用いただくには、発信者電話番号表示★のご契約が必要です。
★発信者電話番号表示のご利用には、ナンバー・ディスプレイ対応電話機が必要です。
※自動車・携帯電話（一部事業者）、国際電話（一部除く）などからの電話番号を通知できない着信、公衆電話からの着信については発信者電話番号通知リクエストは機能せず、そのまま着信します。
※データ接続通信で着信した場合、音声メッセージでの応答はしません。

他の付加サービスと併せてご利用の場合の留意事項

通話中着信	お話し中にあとからかかってきた電話（割り込み電話）が電話番号を「通知しない」でかかってきた場合、「通話中着信」は機能せず、発信者電話番号通知リクエストのメッセージで応答します。
転送電話	「転送電話」の転送機能を利用中に電話番号を「通知しない」でかかってきた場合、電話は転送されず、かけた人には発信者電話番号通知リクエストのメッセージで応答します。
迷惑電話お断り	迷惑電話リストに登録されている電話番号から「電話番号を通知しない」でかけてきた場合、「迷惑電話お断り」のメッセージで応答します。
着信お知らせメール	電話をかけてきた相手が非通知により拒否された着信には、お知らせメールを送信しません。
FAXお知らせメール	FAX受信「開始」設定であっても、FAXの発信電話番号が非通知の場合は、FAX代行受信されません。
マイナンバー	発信者電話番号通知リクエストは、OCN ひかり電話利用回線ごとのご契約となるため、電話番号ごとに「発信者電話番号通知リクエスト」のサービス開始／停止の設定をすることができません。
着信課金	発信者電話番号通知リクエストが動作した時点で着信課金ガイダンスが送出されるため、発信者がガイダンスを聞き取りづらくなります。

6 発信者電話番号表示／発信者電話番号通知リクエスト

ご利用方法

電話機により設定を行います。ご契約時は停止状態です。ご利用いただくためには開始の設定が必要です。
※設定の際には、プッシュ信号を送出できる電話機が必要です。
※発信者電話番号通知リクエストの開始・停止の操作には通話料金がかかりません。
※データ接続通信で発信した場合、接続できません。

開始するとき

1 1 4 8	受話器をあげて 1 4 8 をダイヤルします。
2 ガイダンス	「ナンバー・リクエストの設定を行います。サービスの停止は 0 、サービスの開始は 1 を押してください。」というガイダンスが流れます。 ※ガイダンスが流れる前に、0 、1 をダイヤルすると正常に動作しない場合があります。 ※ガイダンスの途中でも、ガイダンスを最後まで聞かずに 0 、1 のダイヤル操作を行うことができます。（スキップ機能）
3 1	1 をダイヤルしてください。
4 ガイダンス	「サービスを開始します。しばらくお待ちください。」 「サービスを開始しました。」というガイタンスが流れます。 ここで電話を切ってください。 発信者電話番号通知リクエストが開始されます。

停止するとき

1 1 4 8	受話器をあげて 1 4 8 をダイヤルします。
2 ガイダンス	「ナンバー・リクエストの設定を行います。サービスの停止は 0 、サービスの開始は 1 を押してください。」というガイダンスが流れます。 ※ガイダンスが流れる前に、0 、1 をダイヤルすると正常に動作しない場合があります。 ※ガイダンスの途中でも、ガイダンスを最後まで聞かずに 0 、1 のダイヤル操作を行うことができます。（スキップ機能）
3 0	0 をダイヤルしてください。
4 ガイダンス	「サービスを停止します。しばらくお待ちください。」 「サービスを停止しました。」というガイダンスが流れます。 ここで電話を切ってください。 発信者電話番号通知リクエストが停止されます。

6 発信者電話番号表示／発信者電話番号通知リクエスト

「発信者個人情報保護ガイドライン」について

郵政省（現、総務省）は、本サービスにより通知された電話番号が不当に利用されることを防止するため、平成8年11月に「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を制定しました。このガイドラインは、本サービスの事業用利用者を対象とし、番号情報の適正利用を促しています。郵政省（現、総務省）は同年11月に関連業界に対しガイドラインの周知を行いました。弊社では、発信電話番号情報を適正にご利用いただくよう、サービスをご利用いただくお客さまに対して、ガイドラインをご理解いただくよう努めております。
「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

● 発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン

1. 目的

このガイドラインは、発信電話番号等発信者に関する個人情報を通知する電気通信サービス（以下「発信者情報通知サービス」という。）の利用者を対象として、通知を受けた個人情報の取扱いに関する基本的事項を定めることにより、発信電話番号等発信者に関する個人情報及びこれに結合して保有される個人情報を保護することを目的とする。

2. 定義

（1）発信者個人情報
発信者情報通知サービスにより通知される個人に関する情報であって、当該情報に含まれる電話番号、氏名、生年月日、その他の記述又は個人別に付された番号、記号その他の符号、影像又は音声により当該発信者を識別できるもの（当該情報のみでは識別できないが、他の情報と容易に照合することができ、それにより当該発信者を識別できるものを含む。）をいう。

（2）事業用サービス利用者
発信者情報通知サービスを利用する法人その他の団体及び自己が営む事業において発信者情報通知サービスを利用する個人をいう。ただし、国及び地方公共団体を除く。

（3）記録
コンピューター等による自動処理を行うかどうかにかかわらず、通知された発信者個人情報を後に取り出すことができる状態で保存することをいう。ただし、発信者に対して折り返し通信を行う目的で一時的に発信者個人情報を保存する場合を除く。

3. 発信者個人情報の記録の制限等

（1）事業用サービス利用者は、発信者個人情報を記録する場合には、記録目的を明確にし、その目的の達成に必要な範囲内で行わなければならない。

（2）事業用サービス利用者は、発信者個人情報の記録を行う場合、情報主体に対し、発信者個人情報を記録すること及び記録目的を告げなければならない。ただし、情報主体が既にこれを知っている場合はこの限りではない。

（3）事業用サービス利用者は、コンピューター等による自動処理により発信者個人情報の記録を行う電話番号について、誰もが知り得る簡便でわかりやすい方法で周知しなければならない。

4. 発信者個人情報の利用の制限

事業用サービス利用者は、記録目的の範囲を超えて、発信者個人情報を利用してはならない。

5. 発信者個人情報の提供の制限

事業用サービス利用者は、発信者個人情報を外部へ提供してはならない。ただし、次のいずれかに該当する場合には、記録目的にかかわらず、当該個人情報を外部へ提供することができる。

（1）発信者が外部への提供について同意した場合

（2）法令の規定により提供が求められた場合

6. 不当な差別的取扱いの制限

事業用サービス利用者は、発信者情報通知サービスの利用に際し、不当な差別的取扱いを行ってはならない。

7. 発信者個人情報の適正管理

（1）事業用サービス利用者は、記録目的に応じて発信者個人情報の正確性を保つよう努めなければならない。

（2）事業用サービス利用者は、発信者個人情報への不当なアクセス、その紛失、破壊、改ざん、漏洩等に対して適切な保護措置を講じなければならない。

（3）事業用サービス利用者は、発信者個人情報の処理を外部に委託する場合には、契約等の法律行為に基づき、当該発信者個人情報に関する秘密の保持等に関する事項を明確にし、個人情報の保護に十分配慮しなければならない。

8. 事業用サービス利用者の発信者個人情報の開示及び訂正・削除

（1）事業用サービス利用者は、情報主体から自己に関する発信者個人情報の開示の請求があった場合、本人であることを確認した上でこれに応じなければならない。

（2）事業用サービス利用者は、発信者個人情報に誤りがあって、情報主体から訂正・削除を求められた場合、正当な理由なく、その請求を拒んではならない。

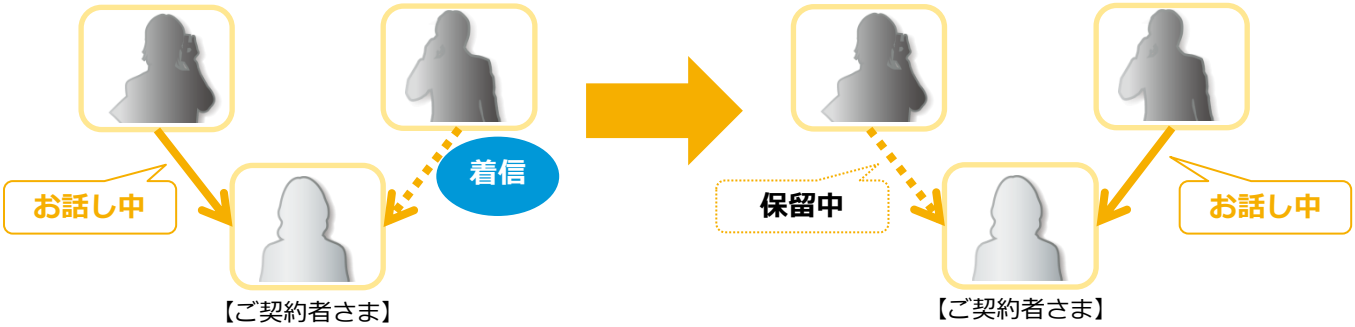
（3）事業用サービス利用者は、発信者個人情報の誤りを訂正・削除するまでは、その情報を利用してはならない。

7 通話中着信

※通話中着信は「 OCN ひかり電話　アドバンスプラン」の月額利用料に含まれる付加サービスです。

通話中着信の機能

お話し中に他から電話がかかってきた場合、フックボタン★を押すだけで、通話相手を保留し、後からかけてきた方とお話しいただけます。
★電話機の種類によっては、フックボタンを「フラッシュ」「 ⊘ 」等と表示している場合があります。
※お待ちいただいている方には保留音が流れます。フックボタンを押すことにより、お話し相手を切り替えることができます。



留意事項

ご利用上の留意事項

- お話し中に、後からかかってきた電話に応答するため、通話相手の方にお待ちいただいている間の通話料は、
  - ・「通話中着信」ご契約者からかけた電話の場合、「通話中着信」ご契約者のご負担になります。
  - ・「通話中着信」ご契約者にかかってきた電話の場合、電話をかけてきた方のご負担になります。
- フックスイッチまたはフックボタンを長く押しますと、電話が切れてしまうことがあります。
- お話し中に他からかけてこられた方には、呼出し音が聞こえます。なるべく早く応答してください。
- 次のようなときは、他から電話がかかってきても信号が入らないことがあります。
  - ・受話器をとってダイヤルする前の発信音が聞こえているとき。
  - ・ダイヤル中のとき。
  - ・相手の方のダイヤルを回し終わって、呼出し音が鳴っているとき。
  - ・110番や119番等との通話中のとき。
- 「通話中着信」を一時的に停止することはできません。停止する場合は、ご契約を廃止する必要があります。再度「通話中着信」をご利用する場合は、お申し込みと工事費が必要です。ただし、「OCN ひかり電話　アドバンスプラン」に含まれる「通話中着信」機能を停止されたい場合については、お申し出により停止することが可能です。

■ **テレビ電話**

- 通話または通信中に、「通話中着信」によるテレビ電話を受けることはできません。音声通話となります。

■ **高音質電話**

- 通話または通信中に、「通話中着信」による高音質電話を受けることはできません。標準音声での通話となります。

■ **データ接続通信**

- 通話または通信中にデータ接続通信で着信した場合、「通話中着信」は作動しません。

他の付加サービスと併せてご利用の場合の留意事項

発信者電話番号表示	● 割り込み着信に対する電話番号は表示されません。 ● ホームゲートウェイの「キャッチホン・ディスプレイ」機能を使用することで、「通話中着信」等での割り込み着信の際にも、「発信者電話番号表示」による電話番号を表示します。 ※初期設定では、キャッチホン・ディスプレイを「使用しない」に設定されています。 ※キャッチホン・ディスプレイ対応の電話機が必要となります。 ※ホームゲートウェイ「PR-200NE」「RV-230シリーズ」「RT-200シリーズ」をご利用の方は、最新のファームウェアにバージョンアップすることでご利用いただけます。
発信者電話番号通知リクエスト	お話し中にあとからかかってきた電話（割り込み電話）が電話番号を「通知しない」でかかってきた場合、「通話中着信」は機能せず、発信者電話番号通知リクエストのメッセージで応答します。
転送電話	● 無条件転送設定時 「通話中着信」は作動しません。転送電話契約回線の動作は以下のとおりです。 1コール目：転送先へ転送中 2コール目：発信者に話中音を返します。 ● 無応答時転送設定時 設定された呼び出し秒数以内にフッキング操作を行えば割り込み可能です。転送電話契約回線の動作は以下のとおりです。 1コール目：通話中 2コール目：割り込み音が入ります。 ● 話中時転送設定時「通話中着信」は作動しません。転送電話契約回線の動作は以下のとおりです。 1コール目：通話中　　2コール目：転送先へ転送します。 ● ご利用にあたっての設定中（例えば、転送先電話番号の登録中など）には、「通話中着信」等は作動せず割り込み音は鳴りません。
迷惑電話お断り	● 「迷惑電話リスト」に登録された相手による割り込み時は「迷惑電話拒否」が優先されます。 ● 「迷惑電話リスト」に登録する場合、「通話中着信」により応答した通話相手（第三者）が登録対象となり、最初の通話相手は登録できません。
着信お知らせメール	「通話中着信」により切り替えて通話した場合も、切り替えず通話しなかった場合も、どちらもお知らせメールを送信します。
FAXお知らせメール	FAX受信「開始」設定中、電話の通話中に音声による通常の電話がかかってきても、割り込み音（ツー・・ププッ、ププッ・・）は聞こえず、後からかかってきた方との通話ができません。
ダブルチャネル	2チャネルとも通話中のときに「通話中着信」が作動します。 1チャネルのみ通話中の場合は「通話中着信」は作動しません。ただし、ホームゲートウェイの割込音通知設定をすることにより、「通話中着信」相当の機能がご利用になれます。
指定着信機能	指定着信番号へ着信した場合は、「通話中着信」はご利用できません。

7 通話中着信

ご利用方法

■ 電話機等
ご利用前に、特別な設定は不要です。

通話中に、他から電話がかかってくると

通話中の受話器から「ツー…、ププッ、ププッ…」という割込音が聞こえます。（後からかけてきた方には、通常の呼出し音「プルルル…」が聞こえています。）

お話し中の相手にお待ちいただき、後からかかってきた電話に応答したい場合

フックスイッチ

または

フックボタン

1. お話し中の相手にそのままお待ちいただく了解を得て
2. **フックスイッチ**（受話器を置くところ）またはフックボタンを1回押します。
（電話機によっては、**フックボタン**を「フラッシュ」「⊘」等と表示している場合があります。）
3. 後からかかってきた電話に応答できます。
（お待ちいただいている方には保留音のメロディ等が流れます。）
4. 後からかかってきた方とのお話しが終わりましたら、フックスイッチまたはフックボタンをもう一回押します。
5. 最初にお話しの方との通話に戻ります。

※最初にお話しの相手にお待ちいただいている間も、電話をかけた方に通話料がかかります。

お話し中の通話を終了し、後からかかってきた電話に応答したい場合

1. お話し中の通話を終えて、受話器を置くとすぐにお客さまの電話のベルが鳴ります。
2. 受話器をとると、かかってきた電話に応答できます。

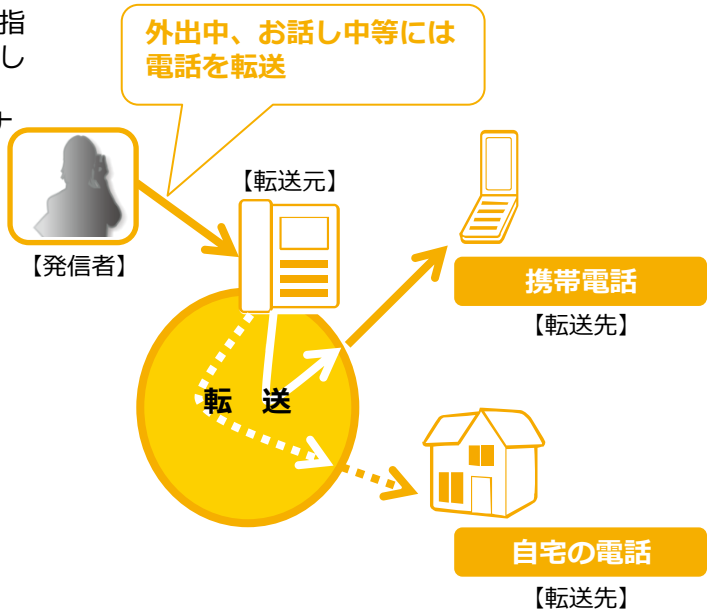
※電話のベルを確認せずフックスイッチまたはフックボタンで通話相手を切替えますと、キャッチホン機能がはたらき最初にお話しした相手の方が受話器をおくまで、最初の通話が保留され通話料がかかります。

8 転送電話

※転送電話は「OCN ひかり電話　アドバンスプラン」の月額利用料に含まれる付加サービスです。

転送電話の機能

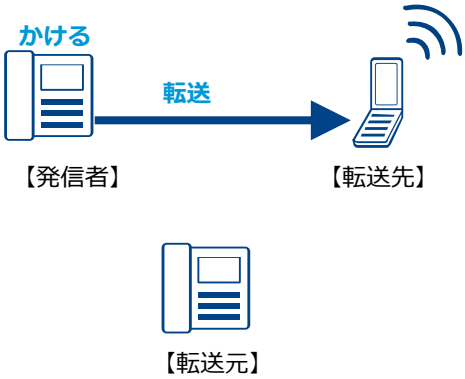
自宅や事務所にかかってきた電話をあらかじめ指定した電話番号へ転送できるサービスです。楽しい会話やビジネスチャンスを逃しません。
※OCN ひかり電話ご契約電話番号およびマイナンバーごとのご契約・設定が必要です。



■転送機能

自動転送機能

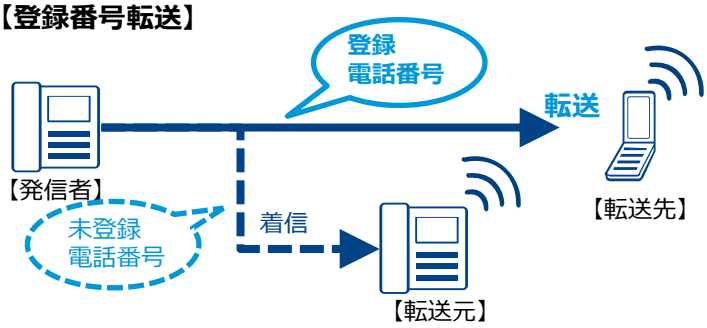
かかってきた電話を全て転送します。



セレクト機能

あらかじめ登録してある電話番号からかかってきた場合のみ、着信または転送します。
※かけてきた方の電話番号が非通知の場合、転送されません。

【登録番号転送】



【登録番号着信】

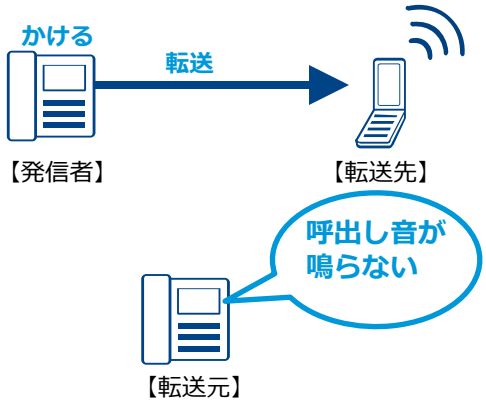
転送電話の機能

■転送方法

自動転送機能、セレクト機能それぞれで、以下の転送方法のいずれかを組み合わせてご利用いただけます。

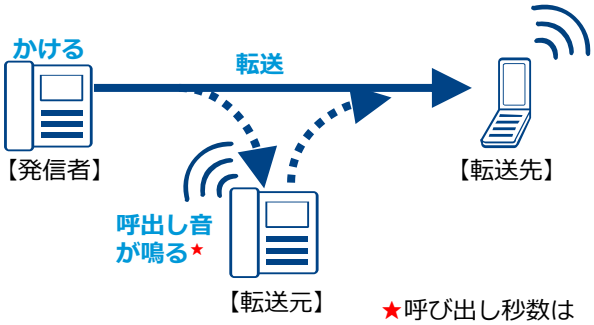
呼び出し音を鳴らさずに転送
無条件転送

転送元の電話を鳴らさずにかかってきた電話を転送先へ直接転送します。



一定時間呼び出し音を鳴らしてから転送
無応答時転送

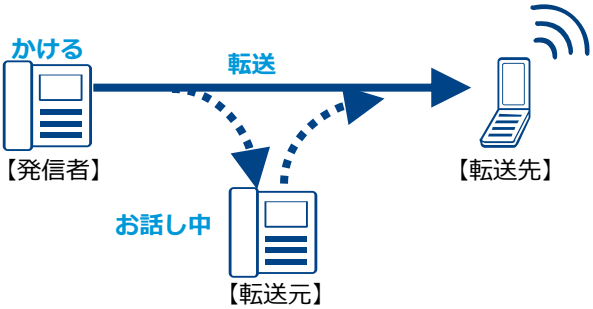
転送元の電話を一定時間鳴らした後に転送します。呼び出し音が鳴っている間に受話器をあげると、電話をかけてきた方とお話ができます。



★呼び出し秒数は5～60秒までの間で1秒単位の設定ができます。

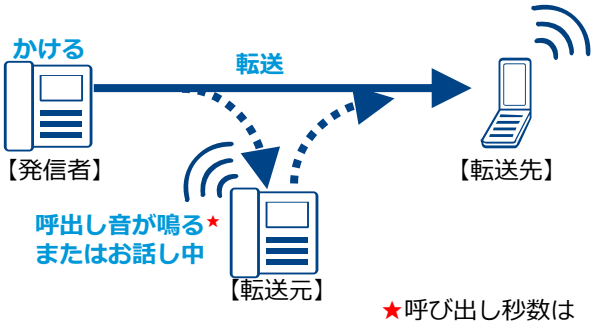
お話し中のときに転送
話中時転送

転送元の電話がお話し中でふさがっているときに転送します。



一定時間呼び出し音を鳴らしてから、またはお話し中のときに転送
無応答時転送＋話中時転送

転送元の電話を一定時間鳴らした後、またはお話し中でふさがっているときに転送します。



★呼び出し秒数は5～60秒までの間で1秒単位の設定ができます。

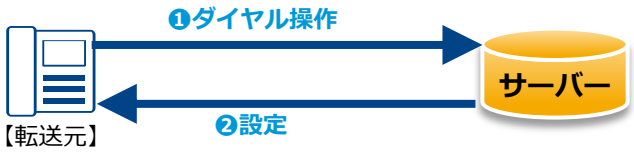
転送電話の機能

■設定操作

転送機能、転送方法は下記の操作方法で設定できます。

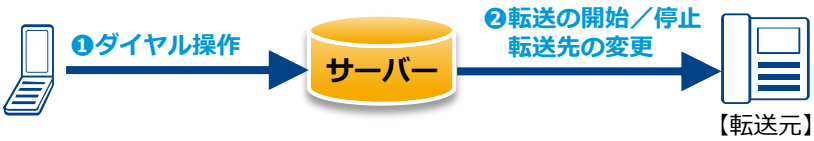
電話を利用した設定操作

転送元の電話から、音声ガイダンスに沿ったダイヤル操作で設定が行えます。



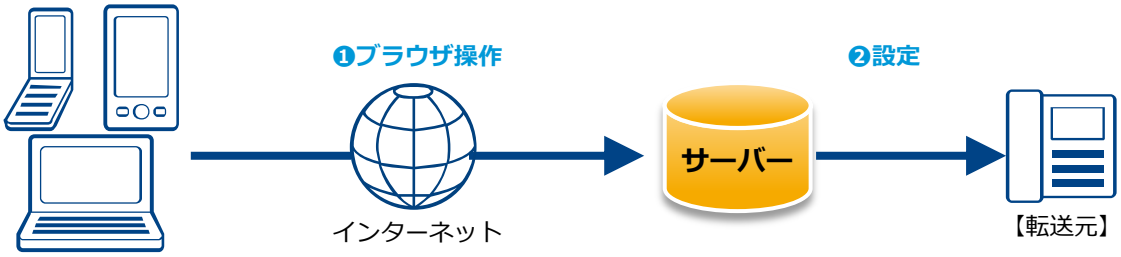
【外出先など別の電話からの操作（リモートコントロール機能）】

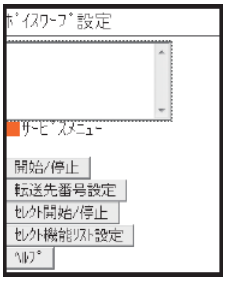
外出先などの別の電話（携帯電話等）から、音声ガイダンスに沿ったダイヤル操作で、転送の開始／停止、転送先の変更の設定が行えます。



インターネットを利用した設定操作

インターネットを利用できるパソコンや携帯電話から、Webブラウザ操作で設定が行えます。





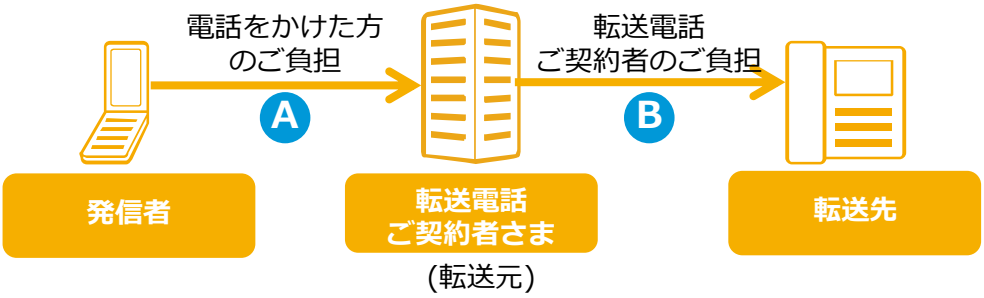
※イメージは東日本エリアの「ひかり電話　設定サイト」です。

東日本エリアの方	https://www.hikari.ntt-east.net/
西日本エリアの方	https://www.hikari.ntt-west.net/

留意事項

ご利用上の留意事項

- 加入電話、INSネットの付加サービス「ボイスワープ」と一部機能が異なります。
- 同一電話番号で、FAXお知らせメールとの同時契約はできません。
- 「通話中着信」、「発信者電話番号通知リクエスト」、「迷惑電話お断り」をご利用中は転送電話が作動しない場合があります。
- 通常の電話の場合に比べ、転送する場合には電話をかけた方から転送先につながるまでに時間がかかります。
- 転送電話ご契約者までの通話料金（A）は、発信者のご負担となります。転送電話ご契約者から転送先まで（B）は、ご契約者のご負担となります。



- 転送中も、転送電話ご契約者の電話から電話をかけることができます。
- 発信者が電話番号を通知する場合、転送元・転送先へ通知される電話番号は発信者の電話番号となります。発信者の電話番号が非通知の場合、転送元・転送先への通知は行いません。
- 転送先への転送理由の通知は行いません。
- 発信者がかけた電話が転送されている旨を発信者および転送先に通知するアナウンスはありません。
- **同時転送可能数**
  同時に転送できる通話の数は、同時に利用可能な通話数となります。
  （基本契約は通話数1、ダブルチャネルをご契約の場合は通話数2）★1★2
  なお、基本契約の場合は2つめ、ダブルチャネルご契約の場合は3つめの転送対象通話については転送されません。★3
  ★1 転送元が応答したか否かに関わらず、1契約につき1つもしくは2つまでとなります。
  ★2 転送中であっても、発信および転送対象通話以外の着信は可能です。
  ★3「無応答時転送」の場合は、転送元をあらかじめ設定した秒数の間呼び出し続けます。それ以外の転送方法の場合は、発信者に話中音を通知します。
- **最大転送回数**
  転送された通話を転送先において、さらに別の転送先へ転送する場合、最大転送回数は5回までに制限されます。6回目の転送を行おうとすると、発信者に話中音を通知します。
- 転送された通話を、転送先においてさらに別の転送先に転送する場合には、通話品質は保証いたしかねます。
- **話中時転送**
  話中時転送設定している電話番号を、着信電話番号として設定されているホームゲートウェイのポートに、電話機等が接続されていない状態で、その電話番号に着信があった場合、発信側には呼出音が流れ話中とならないため、話中時転送はいたしません。
- お客さまが今お使いの電話機、FAX等の機種によっては、転送電話をご利用できない、または設定の変更等が必要となる場合があります。
- NTT東日本、NTT西日本以外の電話会社の回線を経由した通話については、登録番号転送（着信）機能が作動しない場合があります。

- 転送先規制番号
  以下の転送先規制番号は「転送先リスト」に登録できません。

区分	転送先規制番号	サービス
00XY系	00XY（全事業者の番号）	事業者接続
0A0系	010	国際接続
0AB0系	0120	着信課金サービス
	0800	
	0570	特定番号着信サービス
	0170	伝言ダイヤル
	0180	テレドーム／データドーム
	0990	災害募金番組
1XY系	1XY	全て
#ABCD	#ABCD	全て

※詳細は「接続できない番号について」（P.9）をご覧ください。

- 転送先からの申し出があり、必要な場合には、お客さま（ご契約者）に代わって転送を停止することがあります。

他の付加サービスと併せてご利用の場合の留意事項

発信者電話番号通知リクエスト	電話番号を「通知しない」でかかってきた場合、電話は転送されず、かけた人には発信者電話番号通知リクエストのメッセージで応答します。
通話中着信	● **無条件転送設定時** 通話中着信は作動しません。転送電話契約回線の動作は以下のとおりです。 1コール目：転送先へ転送中 2コール目：発信者に話中音を返します。 ● **無応答時転送設定時** 設定された呼び出し秒数以内にフッキング操作を行えば割り込み可能です。転送電話契約回線の動作は以下のとおりです。 1コール目：通話中 2コール目：割り込み音が入ります。 ● **話中時転送設定時** 転送電話は作動しません。転送電話契約回線の動作は以下のとおりです。 1コール目：通話中 2コール目：転送先へ転送します。 ● ご利用にあたっての設定中（例えば、転送先電話番号の登録中など）には、「転送電話」等は作動せず割り込み音は鳴りません。

迷惑電話お断り	「迷惑電話リスト」に登録されている電話番号からかかってきた場合、迷惑電話おことわりサービスが優先され、メッセージで応答するため着信・転送しません。
着信お知らせメール	転送条件にかかわらず全てお知らせメールを送信します。ただし、転送先が話し中などで転送されなかった場合を除きます。
FAXお知らせメール	同一電話番号でFAXお知らせメールとの同時契約はできません。
マイナンバー	転送電話を利用したい電話番号ごとにご契約と設定が必要です。
ダブルチャネル	● **無条件転送設定時** 最大2コール目まで、転送されます。 ● 無応答時転送設定時 最大2コール目まで、設定された時間経過後の着信コールについて転送されます。 着信時に2チャネルとも通話中であった場合は、話し中となり、転送されません。 ● 話中時転送設定時 話中時転送設定をしている電話番号に着信可能な端末が、全て通話中の場合、最大２コール目まで転送されます。 ● 指定転送設定時 設定された転送方法（無条件転送、無応答時転送、話中時転送）の動作条件と同じです。
指定着信機能	指定着信番号は転送されません。

ご契約時の留意事項

- 「転送電話」のご契約には、ご契約者の本人確認が必要です。
- 「OCN ひかり電話」の基本契約が一時中断の場合、「転送電話」は廃止となります。一時中断中の転送はいたしません。（ご契約がNTT東日本の場合に限る。ご契約がNTT西日本の場合、付加サービス（転送電話含む）は自動廃止となりませんのでご注意ください）

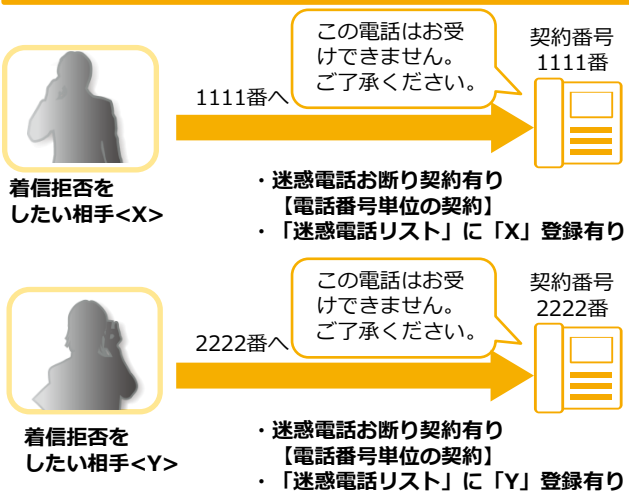
9 迷惑電話お断り

※迷惑電話お断りは「OCN ひかり電話　アドバンスプラン」の月額利用料に含まれる付加サービスです。

迷惑電話お断りの機能

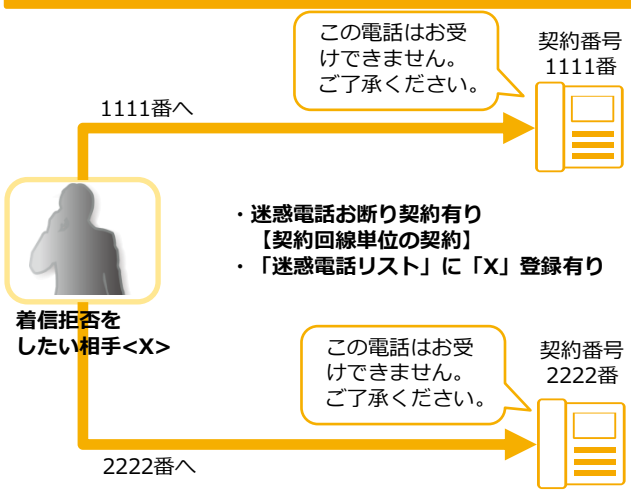
迷惑電話を受けた直後に電話機から簡単な登録操作を行うことで、その後同じ電話番号からかけてきた相手に対して、「この電話はお受けできません。ご了承ください。」とメッセージで応答するサービスです。
なお、マイナンバーをご契約のお客さまの場合、お申し込みの際に「電話番号単位」のご契約か「契約回線単位」のご契約かのいずれかを選択できます。（下図）

ご利用の電話番号単位でのご契約（サービス契約電話番号のみ着信拒否が可能）



1111番、2222番それぞれで、お断り機能（着信拒否）を利用したい相手の電話番号が異なる場合は、迷惑電話お断りを電話番号単位で契約し、それぞれの「迷惑電話リスト」に<X>、<Y>を登録すれば、お断り機能（着信拒否）が利用可能です。

契約回線単位でのご契約（ご利用の全電話番号で着信拒否が可能）



1111番、2222番とも、お断り機能（着信拒否）を利用したい相手の電話番号が共通である場合は、迷惑電話お断りを契約回線単位で契約し、「迷惑電話リスト」に<X>を登録すればお断り機能（着信拒否）が利用可能です。

※着信拒否の対象電話番号は「迷惑電話リスト」に登録されます。1つのリストにつき最大30件まで登録できます。登録数が30件を越える登録については、確認メッセージのあと、最も古い登録内容を削除いたします。
※「迷惑電話リスト」に対する効果を確認できます。当月、前月の2ヶ月分の着信拒否回数が確認できます。ただし、サービス利用開始月は、当月分のみの確認となります。
※一部通信事業者（移動体通信事業者、IP電話事業者含む）経由の通話、一部を除く国際通話など電話番号を通知できない通話については、登録および着信拒否できません。
※メッセージ応答した通話については、発信者に課金されます。
※弊社は、本サービスのメッセージ応答に伴い発生する損害等については、責任を負いません。
※電話をかけてきた相手側が、フリーダイヤル番号「0120」など、契約の電話番号とは異なる番号を通知している場合は、着信拒否できないことがあります。
※電話番号単位に「迷惑電話お断り」をご契約中のお客さまが、契約回線単位でのご契約に変更される場合、「迷惑電話リスト」の内容は引き継がれません（契約回線単位から電話番号単位のご契約に変更される場合も同様です）。
※電話番号単位に「迷惑電話お断り」をご契約中のお客さまが、契約回線単位でのご契約に変更される場合、別途工事費2,000円（税込2,200円）がかかります（契約回線単位から電話番号単位のご契約に変更される場合も契約される電話番号数に応じた工事費がかかります）。

留意事項

ご利用上の留意事項

- 登録した相手の電話番号はわかりません。
- 登録した相手が電話をかけてきたときには、相手側に次のメッセージが流れます。（2回繰り返したあとに切れます。）

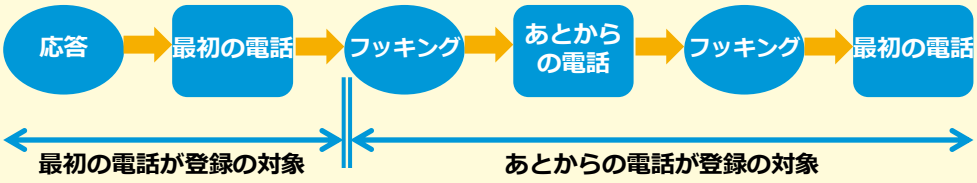
この電話はお受けできません。ご了承ください。

※このとき、お客さまの電話のベルは鳴りません。また、お客さまの電話の発信や着信は通常どおり可能です。

- 「迷惑電話リスト」に登録された電話番号からデータ接続通信で着信した場合、着信は拒否されますが、音声メッセージでの応答はしません。

他の付加サービスと併せてご利用の場合の留意事項

転送電話、発信者電話番号表示、発信者電話番号通知リクエスト	「迷惑電話お断り」で登録された内容が優先されます。
通話中着信	登録対象となる電話を間違えないよう下記の事項にご注意願います。 ● お話し中にあとからかかってきた電話に応答した場合は、それ以降、切り替えた電話が登録の対象となります。 ● あとからかかってきた電話とお話しが済んで、最初の電話の方とお話ししても、登録の対象となる電話はあとからかかってきた電話となります。 ● 通話中着信とダブルチャネルを同時契約した場合、ダブルチャネルの登録動作が優先されます。



次のような場合は下記の操作を行ってください。

［ケース1］迷惑電話に応対中に、他から電話がかかってきた場合

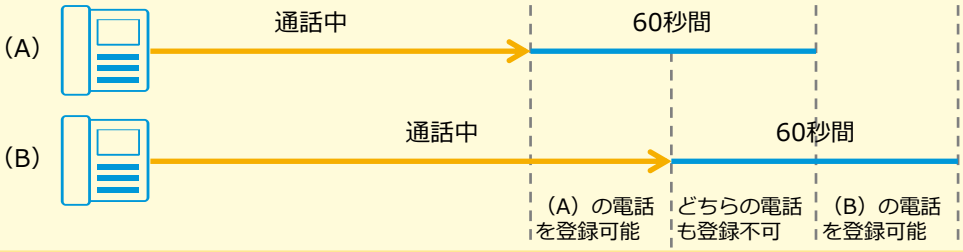
登録操作　A（契約者）がB（迷惑電話発信者）からの電話応対中に通話中着信の信号音が入った場合、通話中着信の切り替え操作をせずに電話を切り、呼び出し音が鳴らなくなってから、登録操作を行ってください。

※なお、通話中着信で切り替えてしまうと、切り替えたCの電話が登録の対象となってしまいますので、ご注意ください。

［ケース2］お話し中に他からかかってきた電話に応答したところ、それが迷惑電話だった場合

登録操作　A（契約者）がB（普通の電話）とお話し中に通話中着信で切り替えた電話がC（迷惑電話発信者）からの電話であった場合、最初の方とのお話しが済んだあとに、いったん受話器をおろして登録操作を行ってください。

9 迷惑電話お断り

着信お知らせメール	「迷惑電話リスト」に登録された電話番号からの着信には、お知らせメールを送信しません。
FAXお知らせメール	FAX受信「開始」設定中であっても、「迷惑電話お断り」が優先され、「迷惑電話リスト」に登録された電話番号からのFAXは受信されません。また、FAX受信「開始」設定中の着信は、「迷惑電話リスト」への登録はできません。
マイナンバー	● 「迷惑電話お断り」をご契約いただいた電話番号を発信電話番号として設定している電話機から登録してください。他の電話番号を発信電話番号として設定している電話機から操作した場合、登録を行えません。 ● 「迷惑電話お断り」を複数ご契約いただいている場合は、ご契約いただいた番号ごとの登録となります。
ダブルチャネル	● 登録対象となる電話は最後に切った電話となります。 ● 登録可能な時間は、電話を切った後60秒以内に限られます。 ● 登録可能な電話が複数ある場合、どちらも登録できません。 

10 着信お知らせメール／FAXお知らせメール

※着信お知らせメールは「OCN ひかり電話　アドバンスプラン」の月額利用料に含まれる付加サービスです。

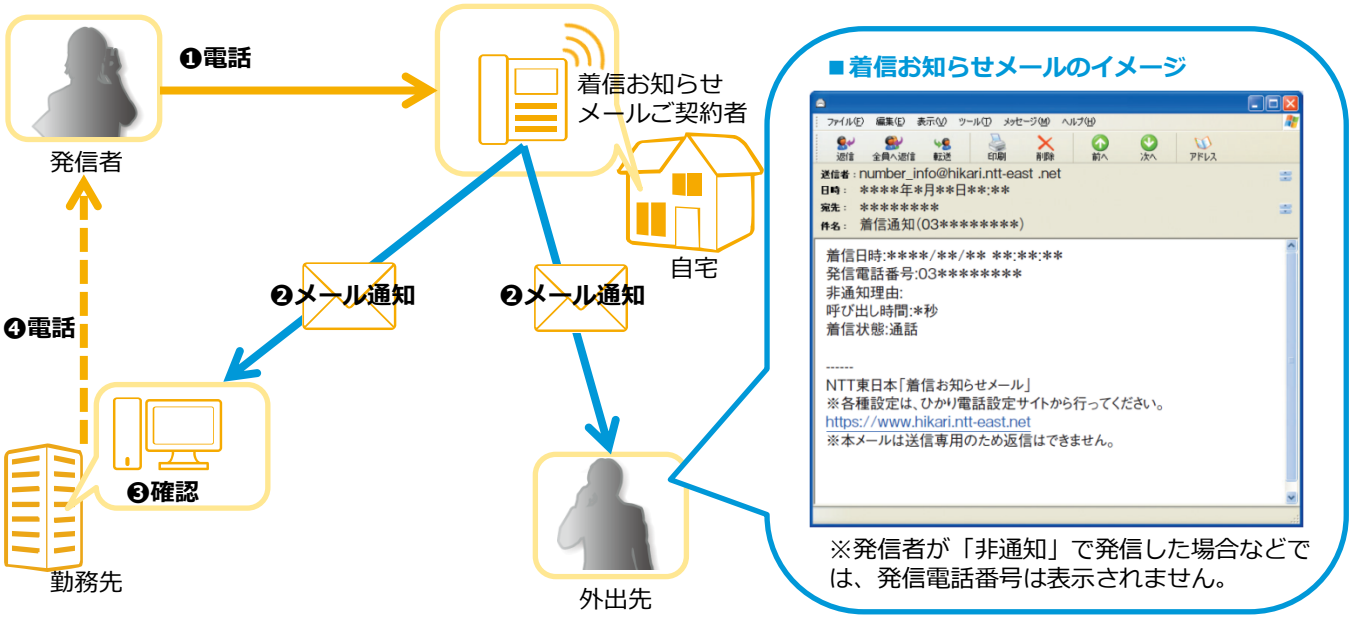
着信お知らせメールの機能

自宅や会社のOCN ひかり電話ご契約回線に電話があったことを、任意のパソコンや携帯電話のメールアドレスへの通知により確認できます。

- 着信情報をお知らせするメールアドレスは最大5件まで設定可能です。
- あらかじめ登録した電話番号からかかってきた場合のみ、着信情報をお知らせすることも可能です。登録可能な電話番号は最大30件です。
- 電話に出られなかった着信のみ、お知らせすることも可能です。

【ご利用イメージ】

仕事中や外出中であっても、大事な電話があったことをメールで確認することができます。



10 着信お知らせメール／FAXお知らせメール

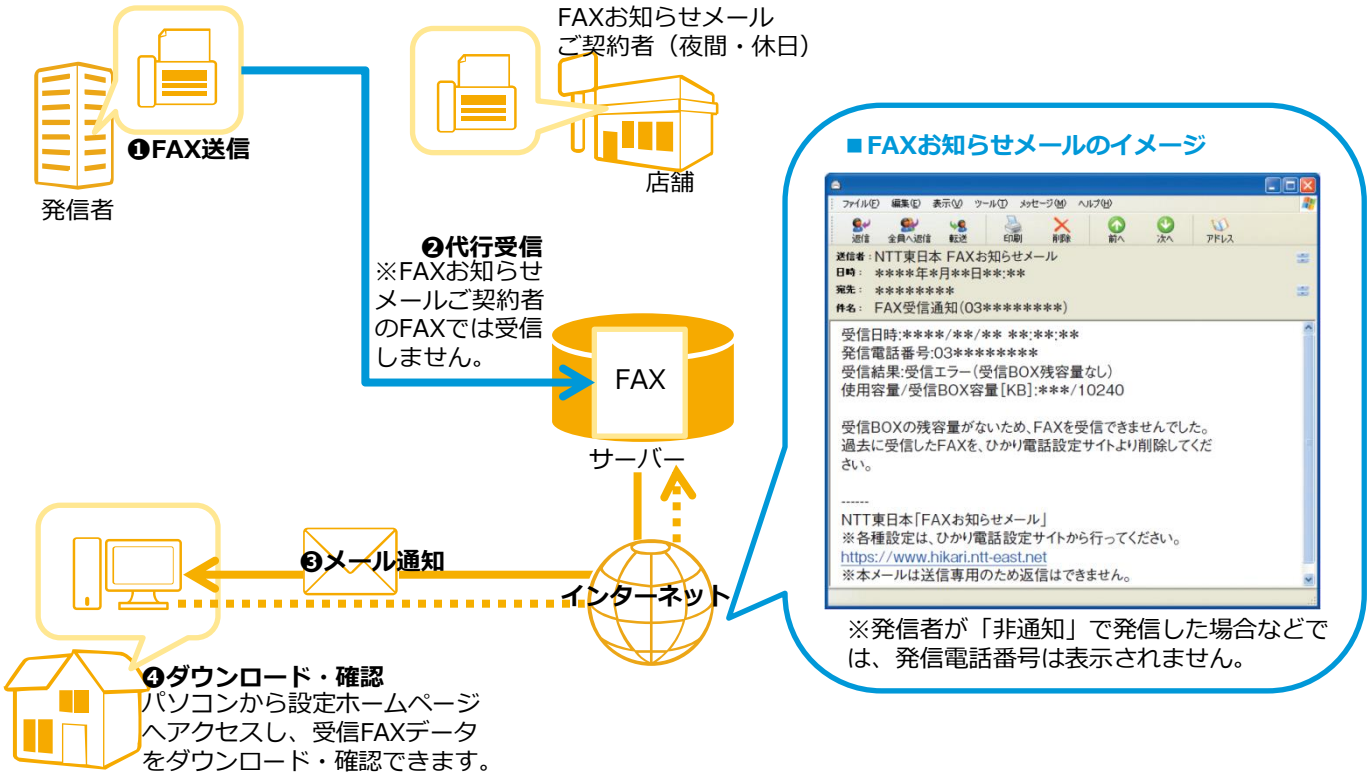
FAXお知らせメールの機能

自宅や会社のOCN ひかり電話ご契約回線にFAXがあったことを、任意のパソコンや携帯電話のメールアドレスへの通知により確認できます。FAXの内容はパソコンやスマートフォン等から閲覧することができます。

- 着信情報をお知らせするメールアドレスは最大5件まで設定可能です。
- 受信したFAXは、弊社の本サービスのサーバーで代行受信します。受信可能な容量は1契約につき10MB※または1,000件（A4判1枚80KBとした場合125枚程度）です。
  ※受信エラーを含んだ容量です。
- 受信可能な用紙サイズはA4判、B4判です。
- FAXのデータはTIFF形式のファイルで提供しており、スマートフォンでFAX内容をご覧いただくためには下記２つのソフトが必要となります。
  ①TIFF形式のファイルをダウンロードできるブラウザ
  ②TIFF形式のファイルを閲覧できるソフト
  スマートフォンに標準でインストールされているブラウザや閲覧ソフトでTIFF形式のファイルを正しく扱うことができない場合は、上記２つのソフト（アプリケーション）をインストールしていただくことによりご利用が可能となります。

【ご利用イメージ】

店舗のお休み中に、お得意さまからFAXがあっても、自宅のパソコンからFAXの内容を確認することができます。



留意事項

FAXお知らせメールご利用上の留意事項

- データ接続通信で着信した場合、本サービスは作動しません。
- 受信可能な用紙サイズはA4判・B4判です、それ以外で送信された場合、動作保証対象外となります。
- 1回の受信での最大受信枚数は98枚です。
- 受信したFAXはTIFF形式のデータに変換されます。画像閲覧ソフトは本サービスには付属しておりませんので、お使いのソフトウェアをご利用ください。Windows、Macの標準閲覧ソフトもご利用いただけます。
- 携帯電話では、FAX画像の表示およびダウンロードはできません。
- スマートフォン、タブレット端末等でFAX内容をご覧いただくためには、TIFF形式のファイルをダウンロードできるブラウザ、およびTIFF形式のファイルを閲覧できるソフトが必要となります。
- 受信BOXの容量は10MBです（データ量は受信したFAXにより異なりますが、A4判1枚80KBとした場合で125枚程度）。
  ★BOXの残量が無くなるとFAXの受信ができなくなりますので、ダウンロードしたFAXデータは、定期的に削除するようにしてください。
  ★受信可能な容量は、1契約につき10MBまたは1,000件（受信エラーを含む）です。
- 本サービスは、サービス設定ホームページへ接続し、FAX受信の「開始／停止」の設定ができます。設定が「開始」の状態の場合、電話の発信は可能ですが、通常の電話（音声）がかかってきても、電話機の着信音が鳴りません。ご利用の際は、マイナンバーのご契約をお勧めします。
- 本サービスを解約した際、受信データは全て消去されます。本サービス解約前に必要に応じダウンロードしてください。
- 発信者の方がG4FAXおよびスーパーG3FAXをご利用の場合、FAXの受信ができません。

FAXお知らせメールを他の付加サービスと併せてご利用の場合の留意事項

通話中着信	FAX受信「開始」設定中、電話の通話中に音声による通常の電話がかかってきても、割り込み音（ツー・・ププッ、ププッ・・）は聞こえず、後からかかってきた方との通話ができません。
発信者電話番号表示	FAX受信「開始」設定中の着信については、電話番号表示はされません。
発信者電話番号通知リクエスト	FAX受信「開始」設定中であっても、FAXの発信電話番号が非通知の場合は、FAX代行受信されません。
転送電話	同一電話番号で転送電話との同時契約はできません。
迷惑電話お断り	FAX受信「開始」設定中であっても、「迷惑電話リスト」に登録された電話番号からの着信は、FAX代行受信されません。
着信お知らせメール	同一のメールアドレスを送信先として登録している場合は、両サービスのお知らせメールがそれぞれ送信されます。

着信お知らせメールを他の付加サービスと併せてご利用の場合の留意事項

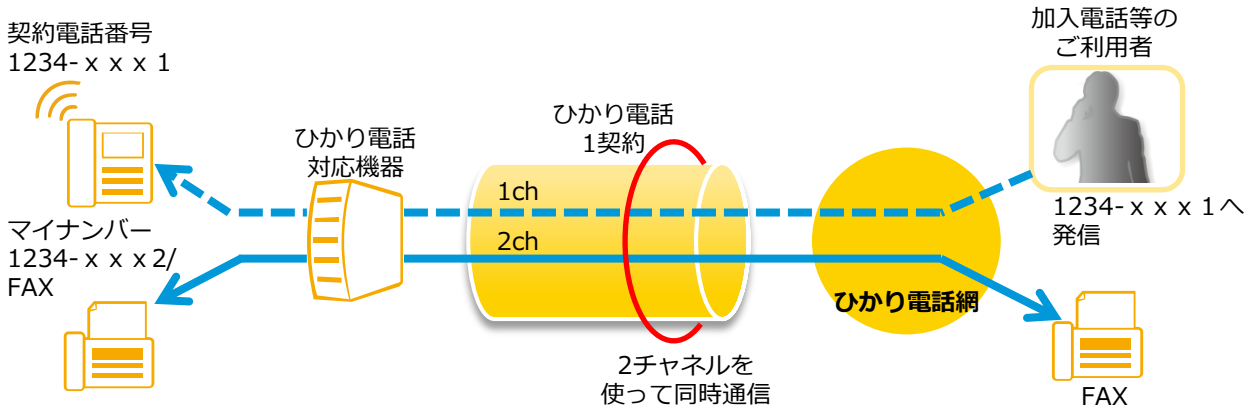
発信者電話番号通知リクエスト	電話をかけてきた相手が非通知により拒否された着信には、お知らせメールを送信しません。
通話中着信	通話中着信により切り替えて通話した場合も、切り替えず通話しなかった場合も、どちらもお知らせメールを送信します。
転送電話	転送条件にかかわらず全てお知らせメールを送信します。ただし、転送先が話し中などで転送されなかった場合は除きます。
迷惑電話お断り	「迷惑電話リスト」に登録された電話番号からの着信には、お知らせメールを送信しません。
FAXお知らせメール	同一のメールアドレスを送信先として登録している場合は、両サービスのお知らせメールがそれぞれ送信されます。

11 「マイナンバー」／「ダブルチャネル」

マイナンバー／ダブルチャネルの機能

電話とFAXの同時通信や電話番号の使い分けができます。
ひかり電話1契約で、最大5つの電話番号が利用できます。家族ひとり一人が自分の番号を持てるから、大切な人からの電話もダイレクトに受けることができます。また、2回線分の同時通話ができるから、1つの電話が話し中でも大丈夫です。

マイナンバー	最大5番号（契約電話番号＋追加4番号）
ダブルチャネル	最大2チャネル（追加1チャネル）



留意事項

ご利用上の留意事項

- マイナンバーごとに発信電話番号の「通常通知」「通常非通知」の設定が可能です。

マイナンバーを他の付加サービスと併せてご利用の場合の留意事項

転送電話	転送電話を利用したい電話番号ごとにご契約と設定が必要です。
迷惑電話お断り	電話番号ごとのご契約と設定が必要です。

ダブルチャネルを他の付加サービスと併せてご利用の場合の留意事項

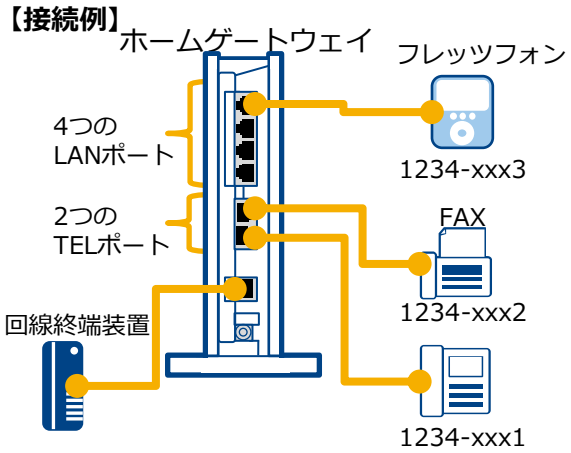
通話中着信	2チャネルとも通話中のときに「通話中着信」が作動します。1チャネルのみ通話中の場合は「通話中着信」は作動しません。 ただし、ホームゲートウェイの割込音通知設定をすることにより、「通話中着信」相当の機能がご利用になれます。
転送電話	● 無条件転送設定時 最大2コール目まで、転送されます。 ● 無応答時転送設定時 最大2コール目まで、転送タイマ満了後の着信コールについて転送されます。また、着信時に2チャネルとも通話中であった場合は、話し中となり、転送されません。 ● 話中時転送設定時 話中時転送設定をしている電話番号に着信可能な端末が、全て通話中の場合、最大２コール目まで転送されます。 ● 指定転送設定時 設定された転送方法（無条件転送、無応答時転送、話中時転送）の動作条件と同じです。
迷惑電話お断り	● ダブルチャネルで同時通話をしている場合、「迷惑電話リスト」に登録される電話番号は、最後に切断された電話番号となります。 ● 「 迷惑電話リスト」への登録は、通話切断後60秒以内となります。

ご利用方法

マイナンバーをご利用の場合、ホームゲートウェイに設定が必要となる場合があります。

- 設定はパソコンにより「設定Web画面」上で行います。
- ホームゲートウェイに接続した電話機のポートごとにマイナンバーの設定（発信電話番号／着信電話番号等）を行います。

【接続例】



電話番号		通信機器
契約電話番号	03-1234-xxx1	電話機
マイナンバー	03-1234-xxx2	FAX
マイナンバー	03-1234-xxx3	フレッツフォン

【設定例】

	TELポート1	TELポート2	IP端末1	IP端末2
内線番号	1	2	3	4
着信電話番号	03-1234-xxx1	03-1234-xxx1 03-1234-xxx2	03-1234-xxx3	03-1234-xxx4
発信電話番号	03-1234-xxx1	03-1234-xxx2	03-1234-xxx3	03-1234-xxx4

※1つの接続ポートに発信電話番号として設定できる電話番号は1つです。

詳しい設定方法については、機器に同梱されている取扱説明書をご覧ください。

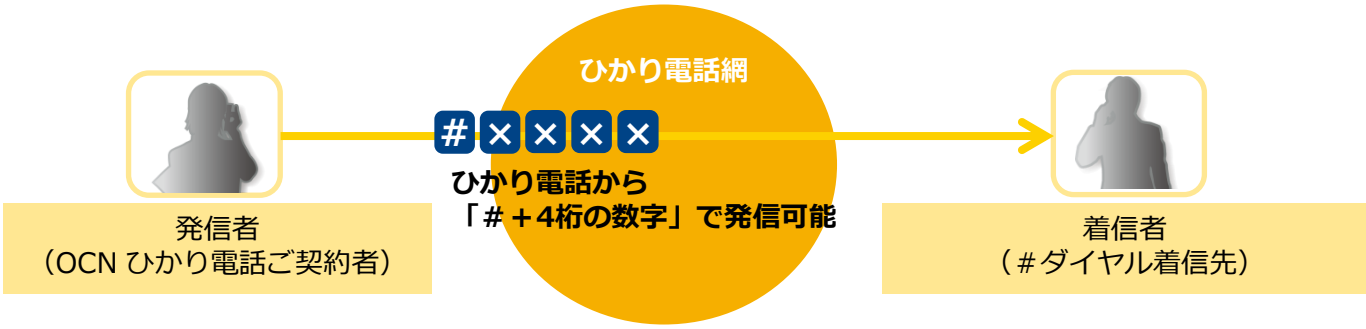
12 ＃ダイヤル

＃ダイヤルの機能

ひかり電話契約者が「＃と4桁の数字からなる番号（＃ダイヤル番号）」をダイヤルするだけで、本サービス契約者が指定する電話番号へ着信できる★1★2サービスです。各種お問い合わせ窓口や予約センターなどで覚えやすい番号をご利用いただけます。さらに、音声通話だけでなく、テレビ電話やデータコネクトでの着信もできますので、新たなビジネスシーンの創出に貢献します。

★1 加入電話などで既に＃ダイヤルをご利用中の場合は、同一の＃ダイヤル番号および着信回線でご利用いただけます。

★2 NTT東日本・NTT西日本が提供するひかり電話ビジネスタイプ、Ｂフレッツのひかり電話等、一部のひかり電話からは接続できません。



■ 契約形態

エリア	利用型	内容	提供番号帯
東日本エリア	東日本利用型	東日本エリア★3全域からの発信を受けることができます。★4	＃8000～＃9999
	ブロック内利用型	東日本エリア★3の４ブロック（北海道・東北・信越・関東）のうち、ご指定いただいた１ブロック内からの発信を受けることができます。	＃7000～＃7899
西日本エリア	西日本利用型	西日本エリア★5全域からの発信を受けることができます。★6	＃8000～＃9999
	ブロック内利用型	西日本エリア★5の６ブロック（東海・北陸・関西・中国・四国・九州・沖縄）のうち、ご指定いただいた１ブロック内からの発信を受けることができます。	＃7000～＃7999

★3 東日本エリア：北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野の計１７都道県エリア

★4 西日本エリアからの発信を受ける場合は、別途西日本エリアにおける「OCN ひかり電話」および「＃ダイヤル」のご契約が必要です（工事費・月額利用料がかかります）。

★5 西日本エリア：富山県、石川県、福井県、愛知県、静岡県、三重県、岐阜県、大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県の計30府県エリア

★6 東日本エリアからの発信を受ける場合は、別途東日本エリアにおける「OCN ひかり電話」および「＃ダイヤル」のご契約が必要です（工事費・月額利用料がかかります）。

留意事項

提供条件

- 本サービスは、弊社が提供する「OCN 光」など光回線サービスのご契約が必要です（別途契約料、工事費、月額利用料がかかります）。

ご利用上の留意事項

- 加入電話などで提供している「＃ダイヤル」とは一部機能が異なります。
- 「＃ダイヤル」番号への通信料は「OCN ひかり電話　アドバンスプラン」の月額利用料に含まれる通話分の対象とはなりません。

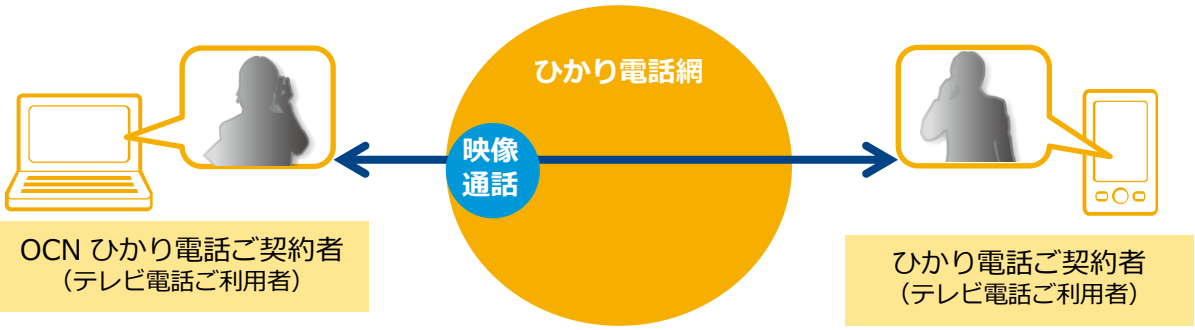
他の付加サービスと併せてご利用の場合の留意事項

FAXお知らせメール	FAX受信「開始」設定の場合、着信は音声も含めて全て本サービスのサーバーに接続されるため、その電話番号への音声着信等は受けられません。
着信課金	• 着信課金と＃ダイヤルで、同一のOCN ひかり電話の電話番号を、同時に接続先電話番号として使用できます。 • ＃ダイヤルの接続先電話番号として、着信課金番号は使用できません。

テレビ電話

テレビ電話の機能

ひかり電話および法人向けひかり電話契約者間でテレビ電話がご利用いただける機能です。
※テレビ電話は「ひかり電話ビジネスタイプ」ではご利用いただけません。
※東日本エリアから西日本エリアへ発信する際、着信側が、ひかり電話ビジネスタイプの電話番号（加入電話などから番号ポータビリティをした番号は除く）を継続して使われている場合、ご利用いただけません。
※西日本エリアから東日本エリアへ発信する際、着信側が、ひかり電話ビジネスタイプの電話番号（加入電話などから番号ポータビリティをした番号は除く）を継続して使われている場合、ご利用いただけません。
※別途、テレビ電話対応機器が必要です。
※NTT東日本・NTT西日本が提供するひかり電話からOCN ひかり電話に「転用」された一部のお客さまにおいては、別途お申込みが必要となる場合があります。



留意事項

ご利用上の留意事項

- 通常の電話番号（0AB～J番号）で利用できます。
- 「テレビ電話」の契約がないひかり電話契約者とは、音声での通話のみとなります。
- 緊急通報（110/119/118）は、音声通話として発信できます。
- 通話相手によっては、標準品質のテレビ電話となる場合があります。
- IPテレビ電話端末等にテレビ電話の着信があった場合は、IPテレビ電話端末等のみ呼出音が鳴ります。他の電話機等へは着信しません。IPテレビ電話端末等がない場合は、呼出音が鳴らず音声通話により再接続となります。
- 音声通話で着信した場合は、IPテレビ電話端末以外の電話機とも通話できます。

他の付加サービスと併せてご利用の場合の留意事項

通話中着信	● 音声通話中またはテレビ電話通話中に、「通話中着信」によるテレビ電話を受けることはできません。音声通話となります。 ● IPテレビ電話端末でテレビ電話通話中は、「通話中着信」による通話（音声通話、テレビ電話）を受けることはできません。また、割込通知音が聞こえません。
着信課金	テレビ電話での着信はできません。
＃ダイヤル	OCN ひかり電話、NTT東日本・NTT西日本が提供するフレッツ 光ライトおよびフレッツ 光ネクストでご利用のひかり電話から接続できます。なお、NTT東日本・NTT西日本が提供するひかり電話ビジネスタイプ、Bフレッツのひかり電話等、一部のひかり電話からは接続できません。
優先着信機能	LANポートにて優先着信機能は利用できません。TELポート（加入電話機等）にて優先着信機能の設定をしている場合、テレビ電話のご利用ができない場合があります。
指定着信機能	LANポートにて指定着信機能は利用できません。TELポート（加入電話機等）にて指定着信機能の設定をしている場合でも、テレビ電話の利用は可能です。

ご利用方法

■通信機器

- 本サービスのご利用には、ひかり電話に対応したテレビ電話対応機器が必要です。
- 通話相手も、ひかり電話および法人向けひかり電話に対応したテレビ電話対応機器をお持ちである必要があります。
  ※テレビ電話は「ひかり電話ビジネスタイプ」ではご利用いただけません。

■接続方法

- 本サービス対応の電話機はひかり電話対応機器のLANポートに接続します。
- ホームゲートウェイの設定が必要となる場合があります。

高音質電話

高音質電話の機能

ひかり電話および法人向けひかり電話契約者同士なら、従来の加入電話よりも高音質で通話ができる機能です。標準音声の周波数帯域（3.4kHzまで）と比べ、約2倍の帯域（7kHzまで）を使用するため、よりクリアな通話を実現します。

※テレビ電話は「ひかり電話ビジネスタイプ」ではご利用いただけません。
※東日本エリアから西日本エリアへ発信する際、着信側が、ひかり電話ビジネスタイプの電話番号（加入電話などから番号ポータビリティをした番号は除く）を継続して使われている場合、ご利用いただけません。
※西日本エリアから東日本エリアへ発信する際、着信側が、ひかり電話ビジネスタイプの電話番号（加入電話などから番号ポータビリティをした番号は除く）を継続して使われている場合、ご利用いただけません。
※別途、高音質電話対応機器が必要です。
※NTT東日本・NTT西日本が提供するひかり電話からOCN ひかり電話に「転用」された一部のお客さまにおいては、別途お申込みが必要となる場合があります。
※高音質電話による通話は、標準音質の通話と同じ通話料3分8円（税込8.8円）となります。

留意事項

ご利用上の留意事項

- 通話先の電話機が「高音質電話」に対応していない場合、標準音質での通話となります。
- 「高音質電話」対応の電話機から117（時報）や177（天気予報）等のガイダンスをお聞きになる場合は、標準音質の音声となります。

他の付加サービスと併せてご利用の場合の留意事項

通話中着信	お話し中に「高音質電話」対応の電話機から電話がかかってきた場合、かかってきた電話との通話は標準音質の通話となります。
着信課金	高音質電話での着信はできません。

ご利用方法

■通信機器

- 本サービスのご利用には、対応電話機が必要です。
- 通話相手が本サービスに対応した電話機をお持ちである必要があります。

■接続方法

- 本サービス対応の電話機はひかり電話対応機器のLANポートに接続します。
- ホームゲートウェイの設定が必要となる場合があります。

データ接続通信

データ接続通信の機能

「データ接続通信」とは、ひかり電話および法人向けひかり電話契約者同士が、ひかり電話の電話番号を利用して写真やファイル共有などのデータ通信ができる機能です。
※テレビ電話は「ひかり電話ビジネスタイプ」ではご利用いただけません。
※東日本エリアから西日本エリアへ発信する際、着信側が、ひかり電話ビジネスタイプの電話番号（加入電話などから番号ポータビリティをした番号は除く）を継続して使われている場合、ご利用いただけません。
※西日本エリアから東日本エリアへ発信する際、着信側が、ひかり電話ビジネスタイプの電話番号（加入電話などから番号ポータビリティをした番号は除く）を継続して使われている場合、ご利用いただけません。
※別途、データコネクト対応機器が必要です。
※NTT東日本・NTT西日本が提供するひかり電話からOCN ひかり電話に「転用」された一部のお客さまにおいては、別途お申込みが必要となる場合があります。

留意事項

ご利用上の留意事項

- 通信先が「データ接続通信（データコネクト）」に対応していない機器の場合、「データ接続通信（データコネクト）」での接続はできません。
- データコネクトの通信料は、テレホンカードおよびＩＣテレホンカードによるお支払いの対象外です。

他の付加サービスと併せてご利用の場合の留意事項

発信者電話番号通知リクエスト	データ接続通信で着信した場合、音声メッセージでの応答はしません。
通話中着信	お話し中に、データ接続通信で着信した場合、通話中着信は作動しません。
迷惑電話お断り	「迷惑電話リスト」に登録された電話番号からの着信が、データ接続通信による場合には着信拒否はされますが、メッセージで応答はしません。
FAXお知らせメール	データ接続通信での着信の場合、FAXお知らせメールは作動しません。
着信課金	データ接続通信での着信はできません。

個人情報保護に関するご案内

プライバシーポリシーは、下記のWebサイトにてご確認いただけます。

https://www.ntt.com/about-us/hp/privacy.html

IP通信網サービス契約約款

OCN ひかり電話の契約約款は、下記のWebサイトから「IP通信網サービス契約約款別冊（OCN ひかり電話サービス）」にてご確認いただけます。

https://www.ntt.com/about-us/disclosure/tariff/

OCN ひかり電話Webサイト

サービスに関する最新情報、サポート情報等は下記のWebサイトにてご確認いただけます。

https://www.ntt.com/business/services/network/internet-connect/ocn-business/ftth/collabop/phone/ip/hikaridenwa.html